

江差町地域公共交通活性化協議会委員の変更

○人事異動による変更

- ・ 山本 勝博 北海道檜山振興局地域創生部地域政策課長
(前任：幅口 一路 北海道檜山振興局地域創生部地域政策課長)
- ・ 酒井 周一 国土交通省北海道運輸局函館運輸支局 首席運輸企画専門官
(前任：經亀 真利 国土交通省北海道運輸局函館運輸支局 首席運輸企画専門官)
- ・ 山崎 英雄 国土交通省北海道開発局函館開発建設部江差道路事務所 工務課長
(前任：秋本 光雄 国土交通省北海道開発局函館開発建設部江差道路事務所 工務課長)
- ・ 日下 和雅 北海道渡島総合振興局函館建設管理部事業室道路課長
(前任：田中 修 北海道渡島総合振興局函館建設管理部事業室道路課長)

令和3年度 江差町地域公共交通活性化協議会事業報告

1. 会議等

①令和3年度第1回江差町地域公共交通活性化協議会

- ・日 時 令和3年11月24日（水）14時00分～15時45分
- ・会 場 江差町役場1階 保健センター（集団指導室）
- ・議 題 **【※全事項承認】**
 - （1）江差町地域公共交通活性化協議会（法定協議会）について
 - （2）役員の選出について
 - （3）令和3年度事業計画（案）及び当初予算（案）について
 - （4）江差町における公共交通等の現況について
 - （5）地域公共交通調査事業の実施について
 - （6）MaaS（マース）実装化に向けた実証実験の実施について

②令和3年度第2回江差町地域公共交通活性化協議会（書面協議）

- ・審議期間 令和4年1月20日（木）～27日（木）
- ・議 題 **【※全事項承認】**
 - （1）地域概況の整理及び地域公共交通調査事業に係る実施内容等の確認について
 - （2）町民ニーズ把握調査におけるアンケート調査票（案）について
 - （3）令和3年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業）に関する事業評価（案）について
 - （4）江差マース実証実験の実施概要等について

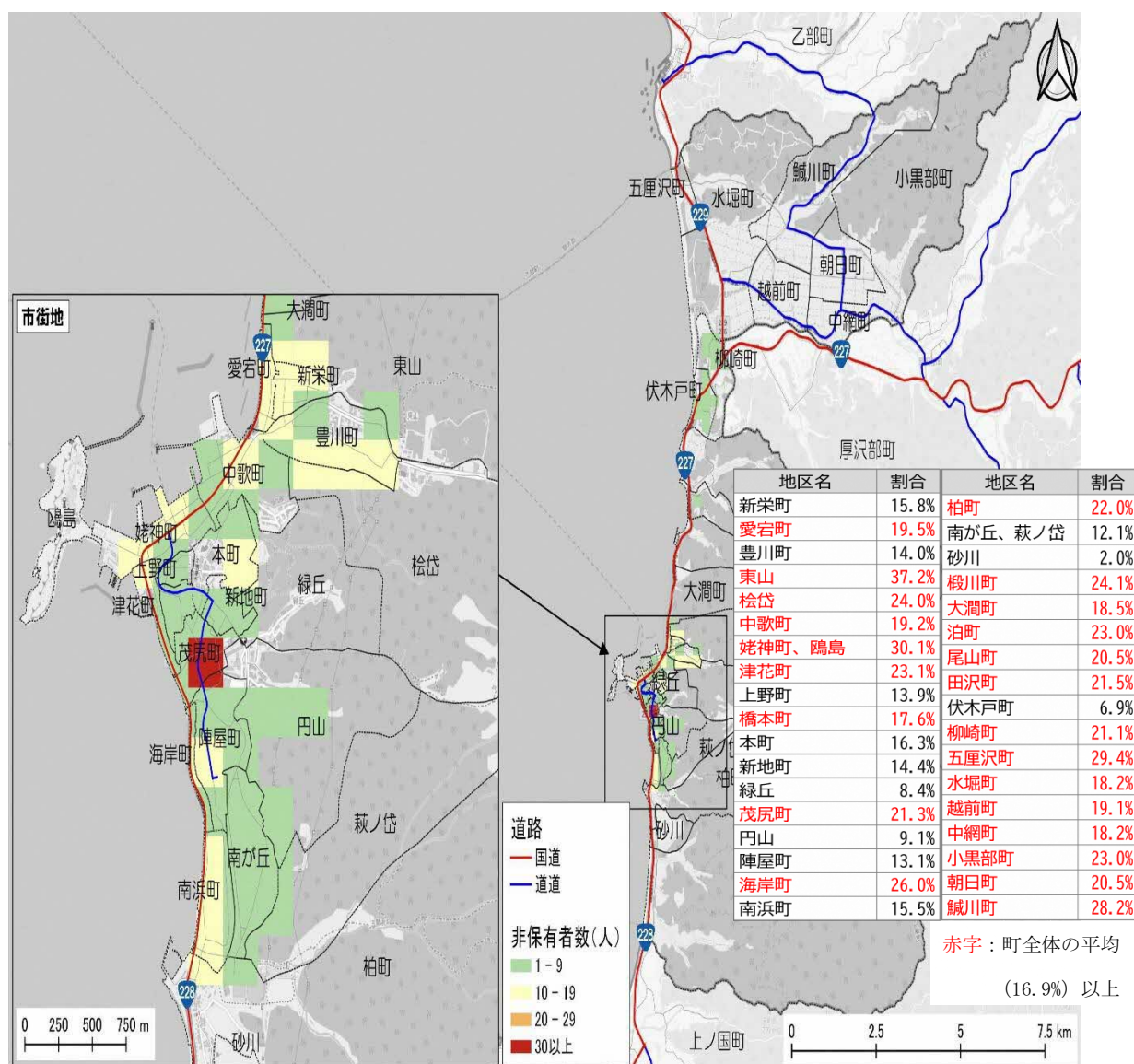
③令和3年度第3回江差町地域公共交通活性化協議会

- ・日 時 令和4年3月29日（火）13時25分～15時40分
- ・会 場 江差町役場1階 保健センター（集団指導室）
- ・議 題 **【※全事項承認】**
 - （1）「江差～奥尻島航路」のダイヤ改正に関する報告について
 - （2）町民ニーズ把握調査の結果報告について
 - （3）町民意見交換会の結果報告について
 - （4）江差マース実証実験の結果報告について
 - （5）江差町地域公共交通活性化協議会分科会（仮称）の設置に関する提案について
 - （6）令和4年度事業計画（案）及び当初予算（案）の提案について

2. 地域公共交通調査事業

①現況交通実態調査

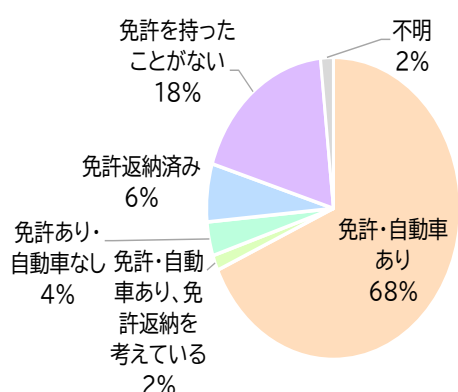
- ・趣 旨 国勢調査（H27）及び自動車運転免許証の保有率データ（※令和3年度第1回協議会資料より）を活用し江差町内の運転免許証非保有者の分布状況について、また、バス停等の位置情報データを活用し交通空白地域及びバス停からアクセスが困難な都市機能施設等の位置状況について整理するなど、江差町の公共交通の現況把握を行った。
- ・課 題
 - （1）市街地内における公共交通による移動サービスの維持・確保
 - （2）郊外部の居住形態に即した交通の検討
 - （3）高齢者にも利用しやすい交通モード及び交通サービスの提供
 - （4）市街地以外の地域から市街地周辺地域までのアクセス交通の確保
 - （5）市街地や農村部などの交通空白地域の対応
 - （6）自動車運転免許のない町民の移動手段の確立
- ・結果概要（運転免許証非保有率）



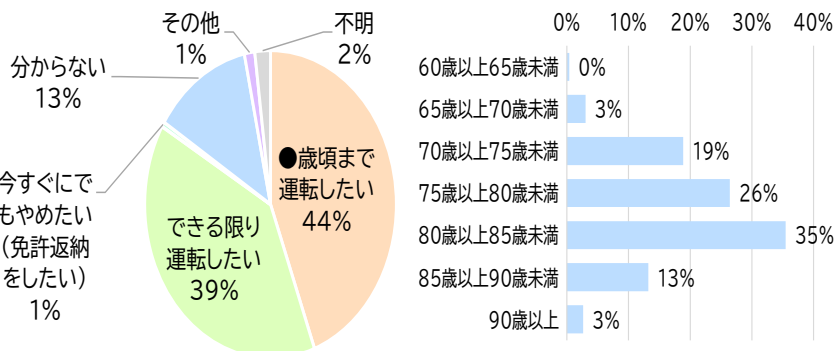
②町民ニーズ把握調査（江差町の公共交通をより良くするためのアンケート調査）

- ・趣 旨 町民の生活圏の把握に加え、公共交通に対するニーズを把握することを目的に、1,700世帯を対象としたアンケート調査を実施した。
- ・実施期間 令和4年2月11日（金）～3月6日（日）
- ・回収結果 605世帯（回収率：35.8%）
- ・アンケート結果（抜粋）

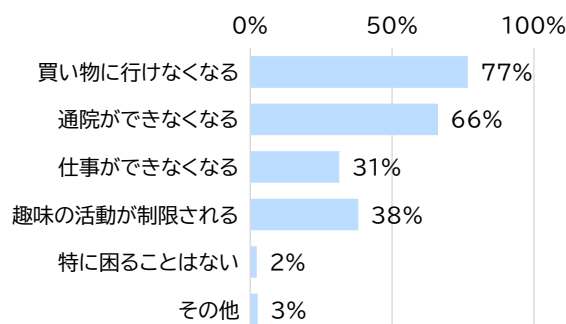
問4 免許・自動車の保有



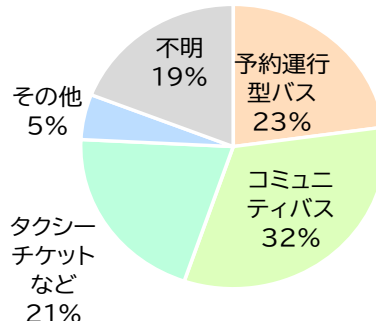
問5 自動車の運転意向



問7 免許返納により困ること



問15 新たに導入してほしい交通サービス



【その他自由記述欄 抜粋】

- ・交通空白地域などへのきめ細かい交通網を確保するなど、高齢化社会に即した対策が必要と考えます。高齢の方にとっては、ありがたく待ち望んでいる事だと感じます。
- ・巡回バス等が運行したとしても、自宅から乗り場までの距離が遠い方は、結局利用することが難しくなってしまうと思います。曜日ごとに回る地域を変えるなどして、どの方も利用しやすい公共交通機関の運行をしていただけると、生活がもっと便利になると思います。
- ・函バス停の徒歩距離も長く、年齢を重ねるうえで不安があり、運行時間や運行数も少なくなり不便で仕方がない。
- ・デマンドバス、コミュニティバスのそれぞれに利便があると思う。これから自身の運転が難しくなってきた時に無理をしないで免許返納が出来るためには、このようなサービスは必要だと思う。
- ・高齢者が車の免許を手放しても、制限されやすい安心して暮らせるサービスが充実して欲しい。子の世代からしても、親が高齢で運転し続けるのは不安。

③町民意見交換会

- ・趣 旨 町民の移動実態の把握に加え、公共交通に対するニーズを把握することを目的に、町内 6 会場において意見交換会を開催した。

- ・参加状況

開催日	開始時間	会場	参加者数
令和 4 年 3 月 15 日（火）	10:30	江差町老人福祉センター	4 名
	14:00	五勝手生活館	3 名
	18:00	南が丘ふれあいセンター	7 名
令和 4 年 3 月 16 日（水）	10:30	コミュニティセンター水堀会館	7 名
	14:00	田沢憩いの家	7 名
	18:00	江差町文化会館小ホール	6 名
合計人数			34 名

- ・結果概要

【移動範囲】

- ・柳崎地区に立地している商業施設及び道立江差病院を利用
- ・江差町市街地に立地している商業施設を利用
- ・上ノ国町の商業施設を利用
- ・函館市への通院に合わせ、買い物目的や私用目的等で移動

【移動で困っていること】

- ・荷物を持って帰ることが大変
- ・バス停までの移動が大変（坂などがあると特に）
- ・運賃が高い

【導入してほしい交通サービス】

- ・江差マースのような自宅まで来る交通が望ましい
- ・函館バス路線の自由乗降化が望ましい
- ・地区をきめ細かく運行するコミュニティバスが望ましい
- ・運賃負担の軽減化
- ・町内交通と広域交通の接続性の確保及び交通結節点の整備
- ・函館方面（新函館北斗駅など）へ早く着く交通の確保

【江差マースについて】

- ・今後も継続してほしい
- ・予約システムの見直し（電話予約も可など）
- ・運行範囲の拡大
- ・バスやタクシーなどとのすみ分けが必要

3. その他

○江差マース実証実験の実施

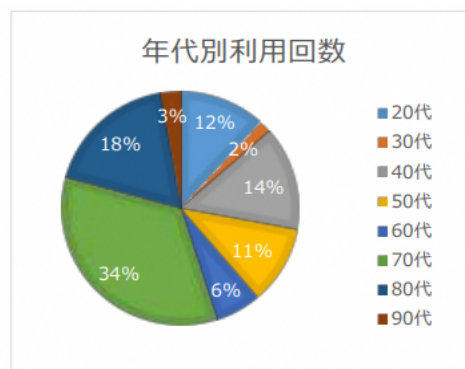
- ・趣 旨 江差町と包括連携協定を締結している「サツドラホールディングス(株)」との連携により、地域公共交通の維持・確保に向けた、新たなモビリティサービス「江差 MaaS (マース)」の導入を見据えた実証実験を行った。
- ・実証内容 既存交通を補完する新たな交通サービス「オンデマンド交通」の導入を見据えた実証運行を、商店街地域を中心とする経済エリア（上町）及び交通空白地域である居住エリア（下町）の両エリア間にて実施した。
- ・実施期間 令和 4 年 2 月 1 日（火）から 2 月 28 日（月）
- ・運行時間 平日 8 時から 16 時まで（※土日祝日・10 日・17 日は除く）
- ・運行者 (有) 桧山ハイヤー（※同社所有のジャンボハイヤー（10 人乗り）を使用）
- ・予約方法 専用のスマホアプリまたは電話（自動音声）により、希望する「日時・出発地・到着地・乗車人数」を入力する。
- ・乗降地点 居住エリア内の自宅及び対象エリア内の商業施設等を中心に設定



- ・利用結果 (1) 利用登録者数 : 69名
(2) 利用者数 : 32名
(3) 延べ運行回数 : 111回
(4) 延べ乗車人数 : 142名

- ・年代別利用回数

年代	男	女	合計
20代	2	11	13
30代	1	1	2
40代	14	2	16
50代	5	7	12
60代	7	0	7
70代	0	38	38
80代	0	20	20
90代	3	0	3
合計	32	79	111



- ・乗降地点別利用者数

乗降地点	乗降地点名称	ジャンル	乗車	降車
01	自宅	自宅	52	32
02	江差愛宕郵便局	金融	0	0
03	愛宕町バス停(下り)	交通	0	0
04	愛宕町バス停(上り)	交通	1	2
05	万年屋書店	娯楽	0	1
06	江差町役場	暮らし	17	24
07	北洋銀行江差支店	金融	0	0
08	和み歯科	通院	1	0
09	岩城歯科医院	通院	0	0
10	ぶらっと江差	買い物	5	5
11	医療法人社団重慶会佐々木病院	通院	1	2
12	ほくでんネットワーク	暮らし	1	1
13	江差郵便局	金融	0	1
14	北海道南端方面江差警察署	暮らし	1	1
15	ラルズマート江差店	買い物	6	8
16	レディースショップたじま	買い物	0	0
17	あすなろ新地センター	買い物	1	1
18	法華寺通り商店街・寄来所前	買い物	1	2
19	道南うみ街信用金庫本店	金融	1	4
20	ホテルニューえさし	暮らし	5	3
21	増永歯科医院	通院	0	1
22	ダイソー江差店	買い物	2	2
23	江差町文化会館	暮らし	4	6
24	江差茂所郵便局	金融	0	1
25	江差整骨院	通院	1	1
26	サツドラ江差店	買い物	11	13
	合計		111	111

ジャンル	乗降回数	乗車	降車
自宅	1	52	32
金融	5	1	6
交通	2	1	2
娯楽	1	0	1
暮らし	5	28	35
通院	5	3	4
買い物	7	26	31

- ・事後アンケート調査結果 (※回答者156名) 以下、抜粋

・江差マースに登録しなかったもしくは利用しなかった理由を教えてください【いくつかでも】

登録しなかったもしくは利用しなかった理由を教えてください。

回答数

<その他の意見詳細>

登録方法・利用方法が分からなかったから	18
外出する機会がなかったから	12
予定が合わなかったから	23
今回の乗降地点の中に利用したい施設がなかった	3
EZOCAのカードを持っていなかったから	3
スマートフォン等の携帯端末を持っていなかったから	6
今回の実証実験に反対だったから	0
その他	47

- ・ 自家用車を利用しているから :26
- ・ 個人で移動可能なため不要だった :6
- ・ 歩きで不自由はないから :3
- ・ 利用したいと思わない :1
- ・ 特に訳はなし :5
- ・ 私の自宅がマースのルートでなかった :1
- ・ 雨も多く寒い時期だったので控えた :1
- ・ 音声予約に慌ててしまって失敗 :1
- ・ 当分利用しなくても生活が出来る :1
- ・ 腰が悪くあまり歩けない :1
- ・ 良くわからなかった :1
- ・ けがをしていたので説明会に参加できず :1

・江差マースが実用化した場合、利用したいと思います 【1 つだけ】

江差マースが実用化した場合、
利用したいと思いますか？

回答数

利用したい	39
サービス内容によっては利用したい	63
利用したくない	17

・配車予約の機能以外に、江差マースに追加した方が良い機能があれば教えてください 【いくつでも】

配車予約の機能以外に、江差マースに追加した方が
良い機能があれば教えてください。

回答数

運賃の事前決済ができる機能	31
その他の公共交通の運行状況が確認できる機能	16
商業施設などのお得な情報が分かる資料	14
インターネットを通じて宅配をしてくれる機能	26
特になし	26
その他 車の免許を返上した時	1

・江差マースが実用化した場合、1 回の運賃がいくらまでであれば利用したいですか 【1 つだけ】

※ 下町 = 本事業の居住エリア、上町 = 本事業の経済エリア、柳崎周辺 = 大型店集中エリア

a. 下町⇔下町

江差マースが実用化した場合、
1回の乗車の運賃がいくらまで
であれば利用したいですか。

回答数

300円	61
500円	14
700円	1
900円	0
その他	36

<その他の意見詳細>

・ 200円	5
・ 100円	10
・ バス運賃と同額	1
・ 250円	1
・ 150円	1
・ 定額制	1

b. 下町⇔上町

江差マースが実用化した場合、
1回の乗車の運賃がいくらまで
であれば利用したいですか。

回答数

300円	56
500円	22
700円	5
900円	1
その他	28

<その他の意見詳細>

・ 100円	2
・ 200円	6
・ 400円	2
・ バス代金位	3
・ 150円	1
・ 定額制	1

c. 下町⇔柳崎周辺エリア

江差マースが実用化した場合、
1回の乗車の運賃がいくらまで
であれば利用したいですか。

回答数

500円	60
700円	12
900円	5
1100円	4
その他	15

<その他の意見詳細>

・ 100円	1
・ 300円	7
・ 1,000円	1
・ 400円	1
・ 250円	1
・ バス運賃と同額	1
・ 350円	1
・ 200円	1
・ 定額制	1

令和3年度 江差町地域公共交通活性化協議会決算報告

【歳 入】

(単位:円)

款	項	目	予算額	決算額	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	4,763,385	2,206,648	・江差町負担金 7,227,000 ・江差町戻入額 ▲5,020,352
2 補助金	1 補助金	1 補助金	2,463,615	2,002,000	地域公共交通確保維持改善事業費 (地域公共交通調査事業) 補助金 ※ 当初予定していた事業内容の変更 による事業費減額
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	100	109	・口座開設金 100 ・口座利息 9
合 計			7,227,100	4,208,757	

【歳 出】

(単位:円)

款	項	目	予算額	決算額	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	137,200	0	事務局旅費 ※コロナの影響から執行なし
	2 事務費	1 事務費	40,000	24,165	・郵便料金 1,240 ・協議会会長印購入費 20,020 ・振込手数料等 2,905
2 事業費	1 事業費	1 事業費	7,038,900	4,184,592	・江差マースエリアマップ作成費 88,000 ・江差マース臨時チラシ発行に伴う謝礼 91,822 ・日本データーサービス(株) 業務委託料 4,004,770
3 予備費	1 予備費	1 予備費	11,000	0	
合 計			7,227,100	4,208,757	

※ 協議会予算残額 5,020,352 円は事業額の確定をもって江差町に返還 (戻入)

令和 3 年度 会計監査報告

江差町地域公共交通活性化協議会設置要綱第 4 条第 6 項の規定に基づき、令和 3 年度江差町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算に関する関係書類を監査した結果、適正に処理されていることを認めます。

江差町地域公共交通活性化協議会

令和 4 年 8 月 23 日

監事 社会福祉法人江差町社会福祉協議会

事務局長 中島 直樹



令和 4 年 8 月 26 日

監事 ハートランドフェリー株式会社江差支店

取締役江差支店長 佐藤 秀樹



令和4年度第1回 江差町地域公共交通活性化協議会 資料

北海道江差高等学校への
通学状況に関するアンケート調査

作成：日本データーサービス株式会社



1. 調査の概要	2
1-1 調査実施の目的	2
1-2 調査実施期間	2
1-3 調査対象	2
1-4 配付・回収状況	2
1-5 調査項目	2
2. 調査結果概要	3
2-1 バス運行時間帯と通学時間帯（帰宅時）のミスマッチ	3
2-2 運賃助成等の住民が利用したいと思える運賃体系	4
3. 調査結果詳細（生徒用）	5
3-1 回答者属性	5
3-2 通学状況	6
3-3 公共交通への要望	9
3-4 公共交通の利便性改善時の利用頻度	11
4. 調査結果詳細（保護者用）	12
4-1 回答者属性	12
4-2 通学状況	13
4-3 公共交通への要望	14
4-4 公共交通の利便性改善時の利用頻度	18

1. 調査の概要



1-1 調査実施の目的

- ・公共交通の主な利用者となり得る、北海道江差高等学校への通学者の**現状の通学状況の把握**及び**公共交通へのニーズを把握**することを目的に、通学者及び保護者を対象としたアンケート調査を実施

1-2 調査実施期間

- ・令和4年7月13日（水）～7月22日（金）

1-3 調査対象

- ・北海道江差高等学校に通学している生徒（全学年）及びその保護者

1-4 配布・回収状況

- ・配布状況 生徒・保護者 222人
- ・回収状況 生徒128人（回収率：57.7%）、保護者137人（回収率：61.7%）

1-5 調査項目

項目	回答種別	内容	ねらい
1. 属性	共通	・学年 ・居住地	・属性別で傾向を把握
	生徒用	・部活動所属	
2. 通学時の移動状況	共通	・行き・帰りの移動手段	・居住地による特性を把握
	生徒用	・普段の通学時間	
3. 公共交通に対するニーズ	共通	・公共交通を利用していない理由 ・公共交通の利用頻度、通学費用 ・通学で困っていること、不便に感じていること ・公共交通の改善策や要望及び改善時の利用頻度の変化	・公共交通利用における課題の把握 ・改善策の検討
	生徒用	・公共交通を活用した移動区間	

2. 調査結果概要



2-1 バス運行時間帯と通学時間帯（帰宅時）のミスマッチ

- ・生徒及び保護者からの回答で共通して最も多く挙げられた、公共交通が不便な点は、「バスの運行時間が合わない」
- ・生徒の通学時間帯を整理した結果、帰宅時において、午前中授業（定期試験）や部活動を行う生徒の帰宅時に、現バス運行時間帯とのミスマッチが発生していることが予想される

■バスの運行時間が合わない

【生徒用アンケート抜粋】

- ・バスの帰りの時間が15時半しかなく、次が19時なので不便
- ・朝のバスはあるが帰りのバスがない
- ・夕方は1時間ごとに便を増やしてほしい
- ・部活が終わったらバスがなく、1時間以上待たなければならない
- ・3時間目で学校が終わるとバスがない。早く終わった場合でも通常の時間で帰ることになるので、函館行きのバスの時間を増やしてくれたら帰れる時間が自由になる

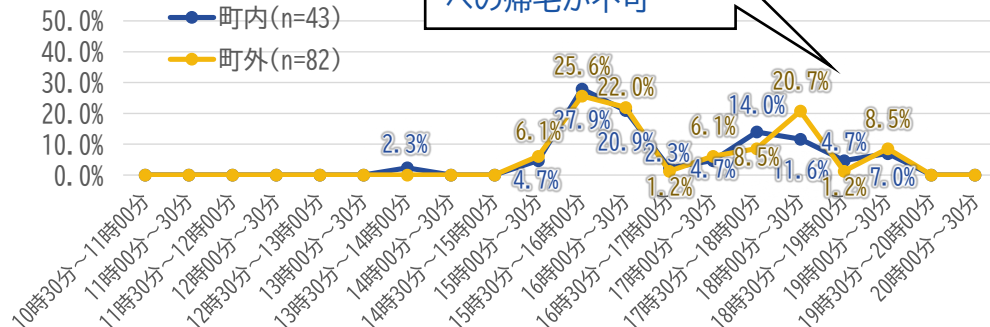
生徒用問10 普段の通学で困っていること、不便に感じてること

【保護者用アンケート抜粋】

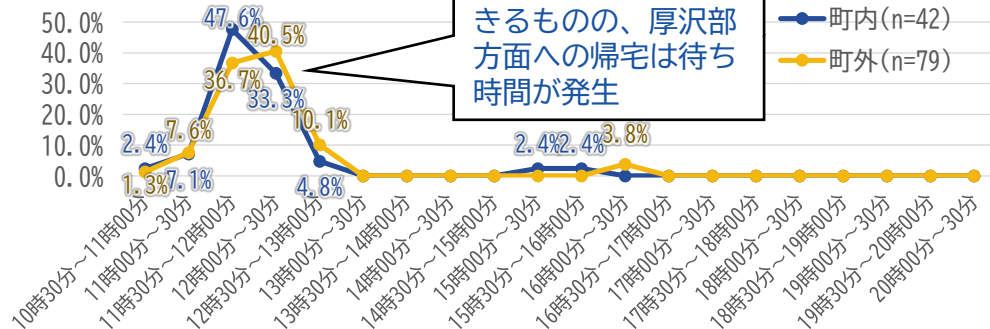
- ・早く学校が終わるとちょうどいいバスがなく、待つか他の人に迎えを頼まなければならない
- ・テストのときなど午前で終わるときはバスの本数が少なく、待ち時間が長い
- ・バスの帰りの時間が15時半で、次が19時までないのでとても不便
- ・帰りの最終バスが18時のため、部活が18時15分までだと迎えに行かなければならない。冬は命がけて迎えに行けないので不安
- ・休日の部活で、部活の開始時間と終了時間とバスの時間が合わないで毎回送迎が必要になってしまう

保護者用問7 普段の通学で困っていること、不便に感じてること

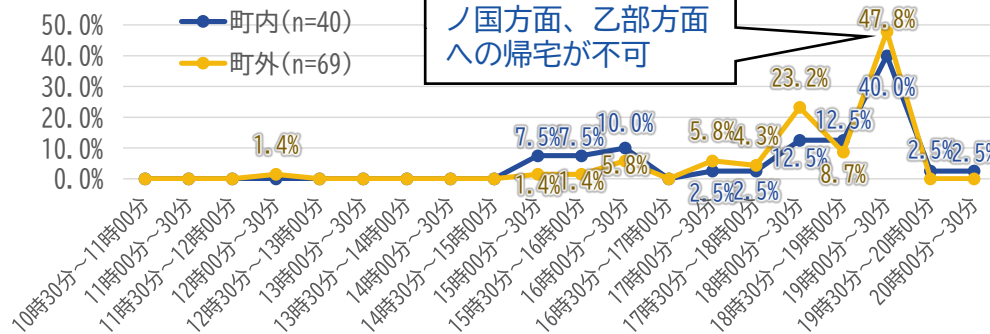
問4 帰宅時間（通常）



問4 帰宅時間（定期試験）



問4 帰宅時間（学校祭）

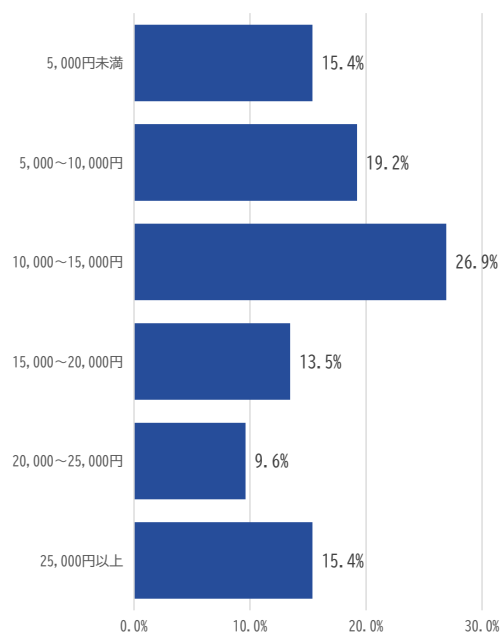


2. 調査結果概要

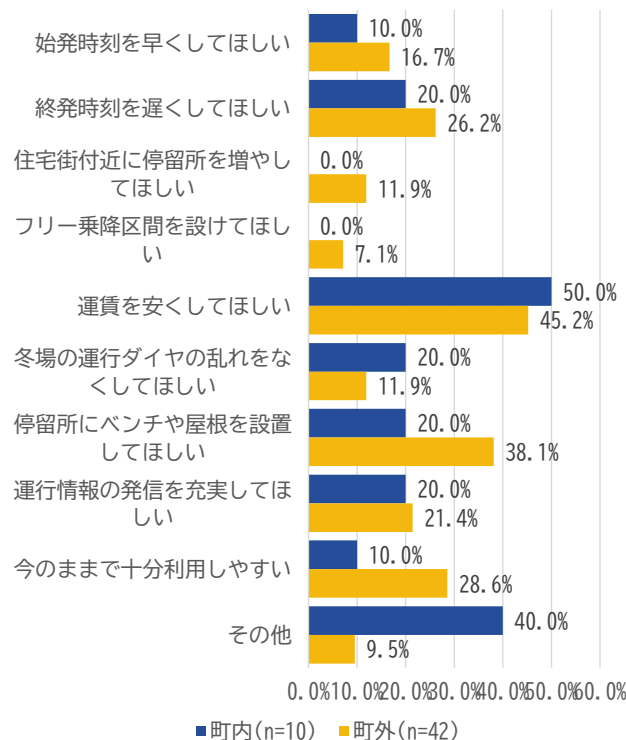


2-2 運賃助成等の住民が利用したいと思える運賃体系

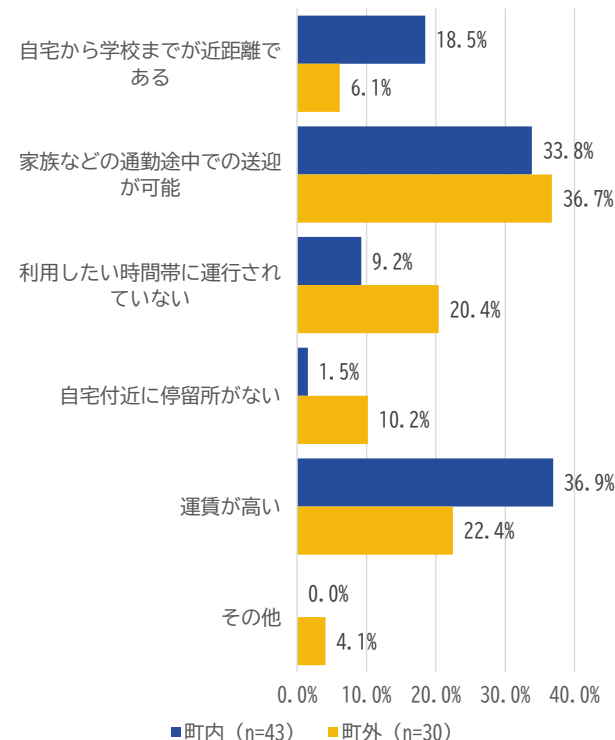
- ・生徒が挙げる公共交通の改善点として、最も回答割合が高いのは「**運賃を安くしてほしい**」
- ・保護者からの要望として、公共交通機関を利用しない理由として、「**運賃が高い**」が最も多くの意見
- ・北海道江差高等学校が立地する町内からの利用であっても、1か月当たり10,000円以上の費用負担を行っている世帯も存在



保護者用問6
公共交通を利用した際の1か月の通学費用



生徒用問9
公共交通の改善点



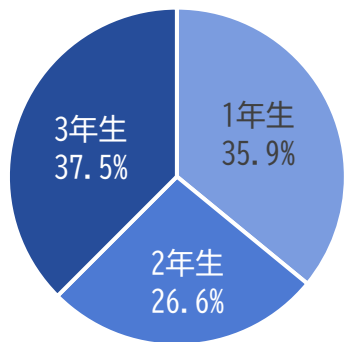
保護者用問4
公共交通機関を利用しない理由



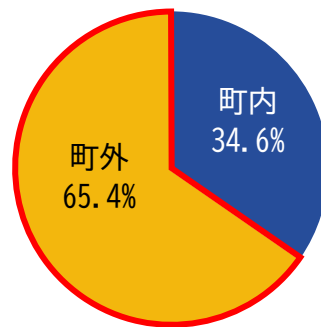
3. 調査結果詳細（生徒用） 3-1 回答者属性



問1 学年 (n=128)



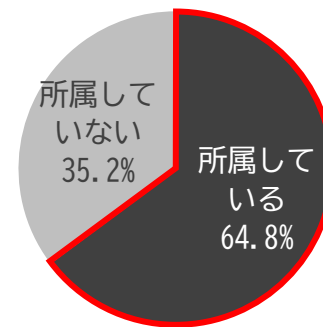
問2 居住状況 (n=127)



町外通学者の
居住状況

居住地	回答数	割合
乙部町	36	28.3%
上ノ国町	20	15.7%
厚沢部町	22	17.3%
八雲町	5	3.9%
町外合計	83	65.4%
町内合計	44	34.6%
総計	127	100.0%

問3 部活動への所属 (n=128)



回答者の部活動の
所属状況

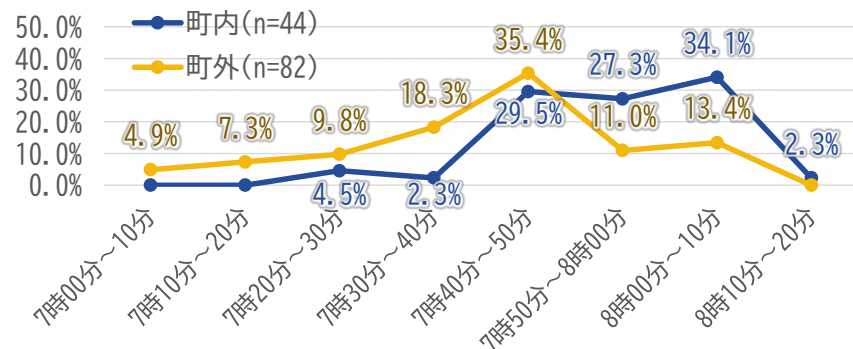
部活動	回答数	割合
弓道	14	19.7%
バスケットボール	13	18.3%
野球	12	16.9%
バドミントン	9	12.7%
サッカー	6	8.5%
男子バレーボール	5	7.0%
美術	5	7.0%
書道	4	5.6%
茶道	4	5.6%
女子バレーボール	3	4.2%
剣道	3	4.2%
吹奏楽	3	4.2%
総計	127	100.0%



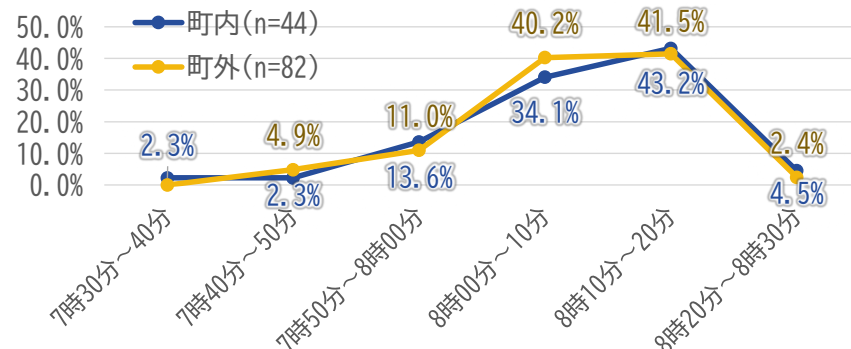
3. 調査結果詳細 (生徒用) 3-2 通学状況)

問4 通学時間 (通常)

自宅発時間

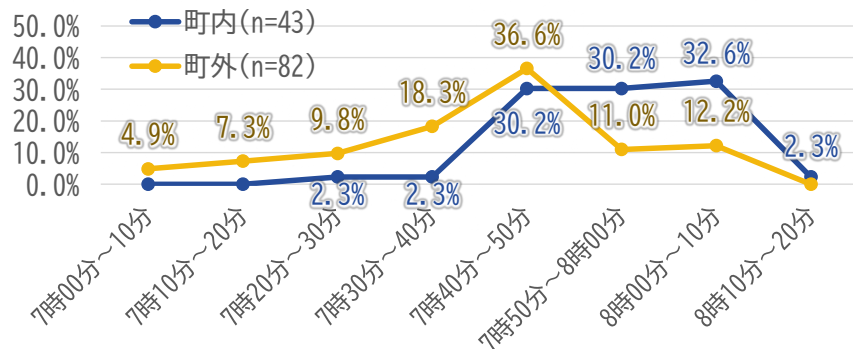


学校着時間

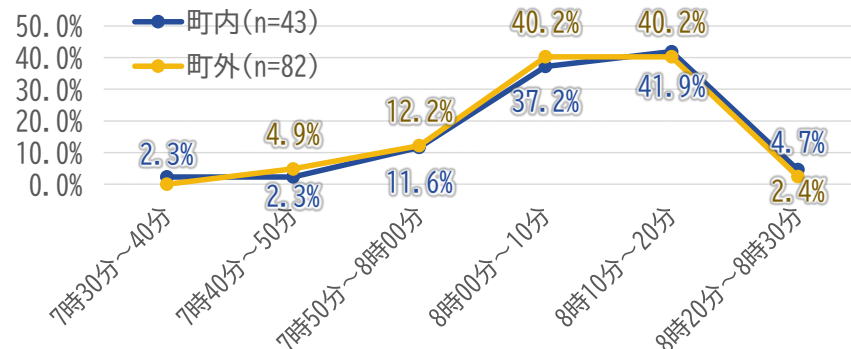


問4 通学時間 (定期試験)

自宅発時間

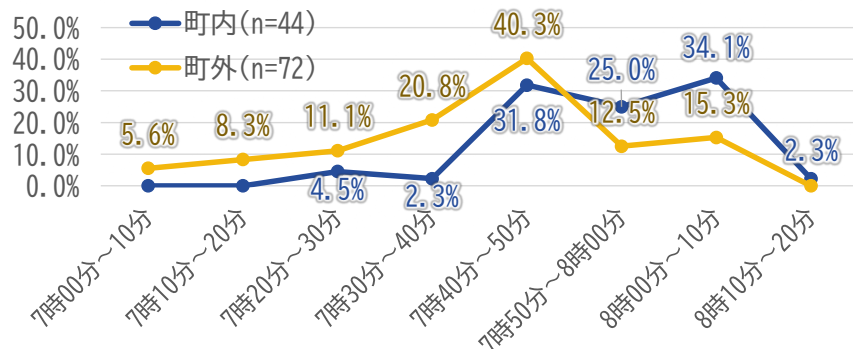


学校着時間

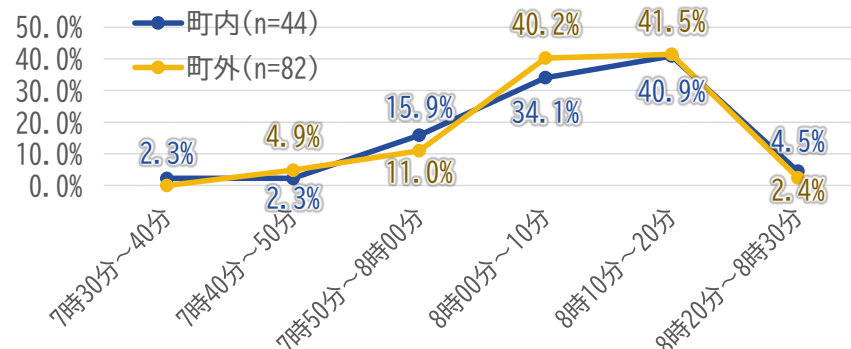


問4 通学時間 (学校祭)

自宅発時間



学校着時間

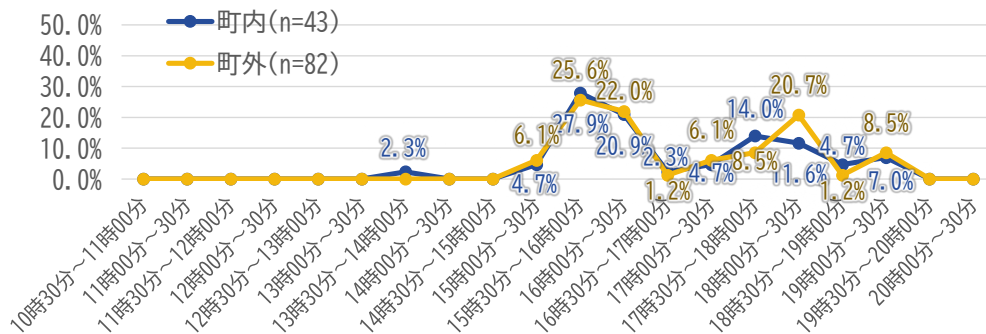


3. 調査結果詳細（生徒用） 3-2 通学状況）

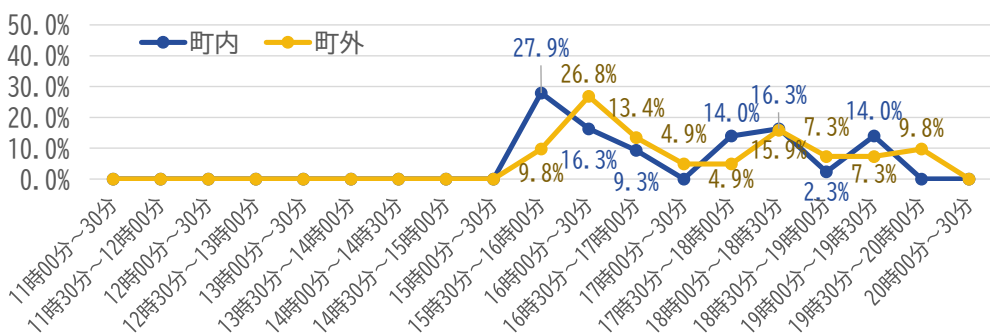


問4 帰宅時間（通常）

学校発時間

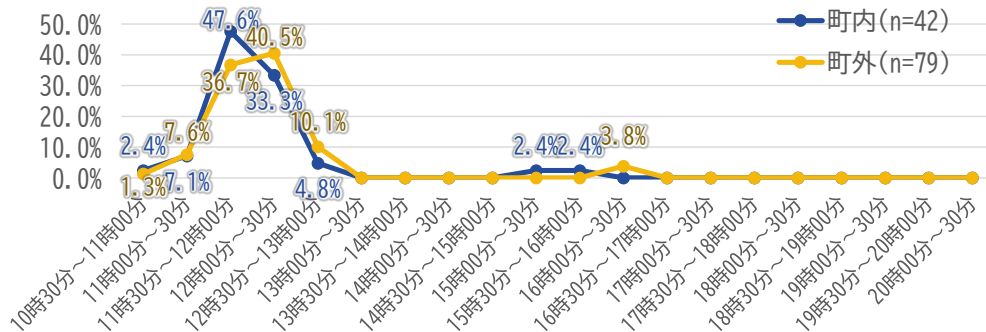


自宅着時間

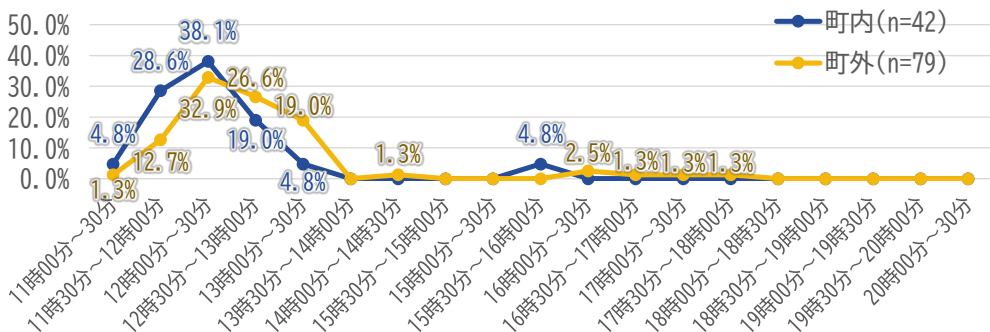


問4 帰宅時間（定期試験）

学校発時間

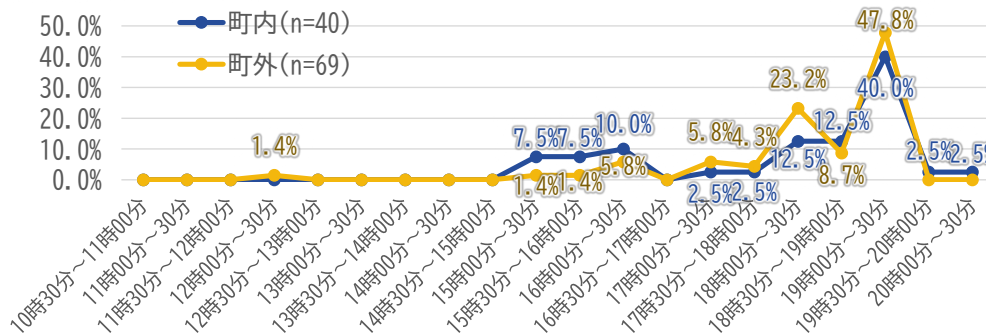


自宅着時間

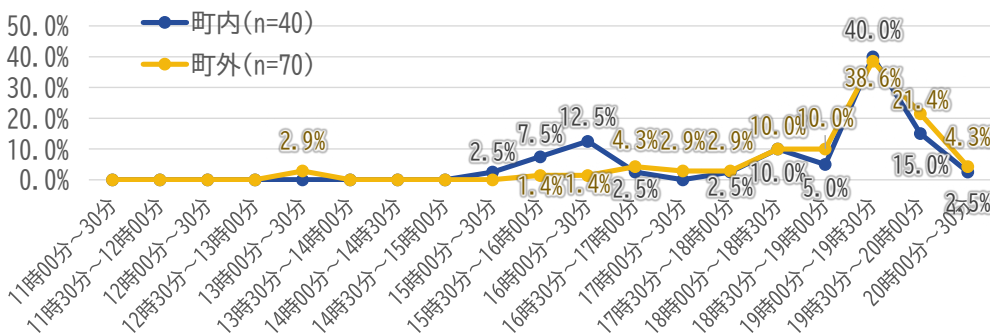


問4 帰宅時間（学校祭）

学校発時間



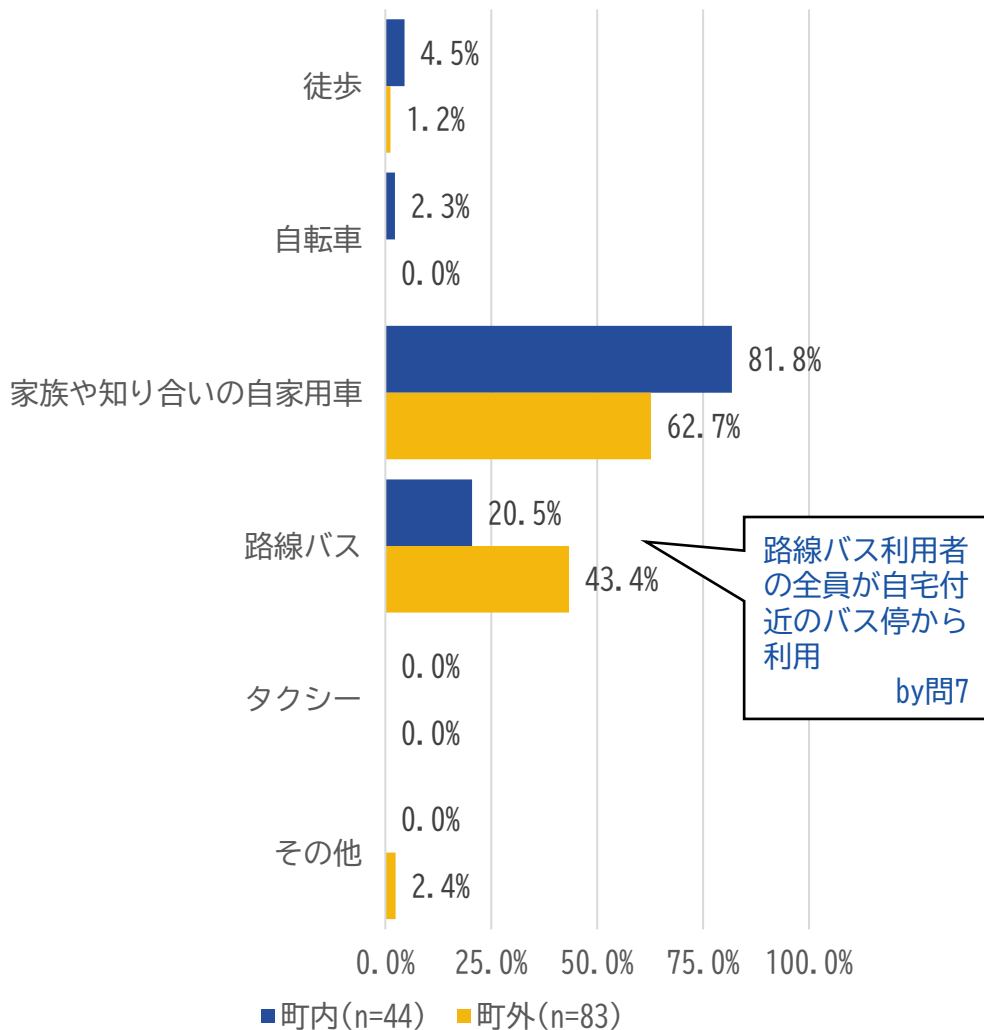
自宅着時間



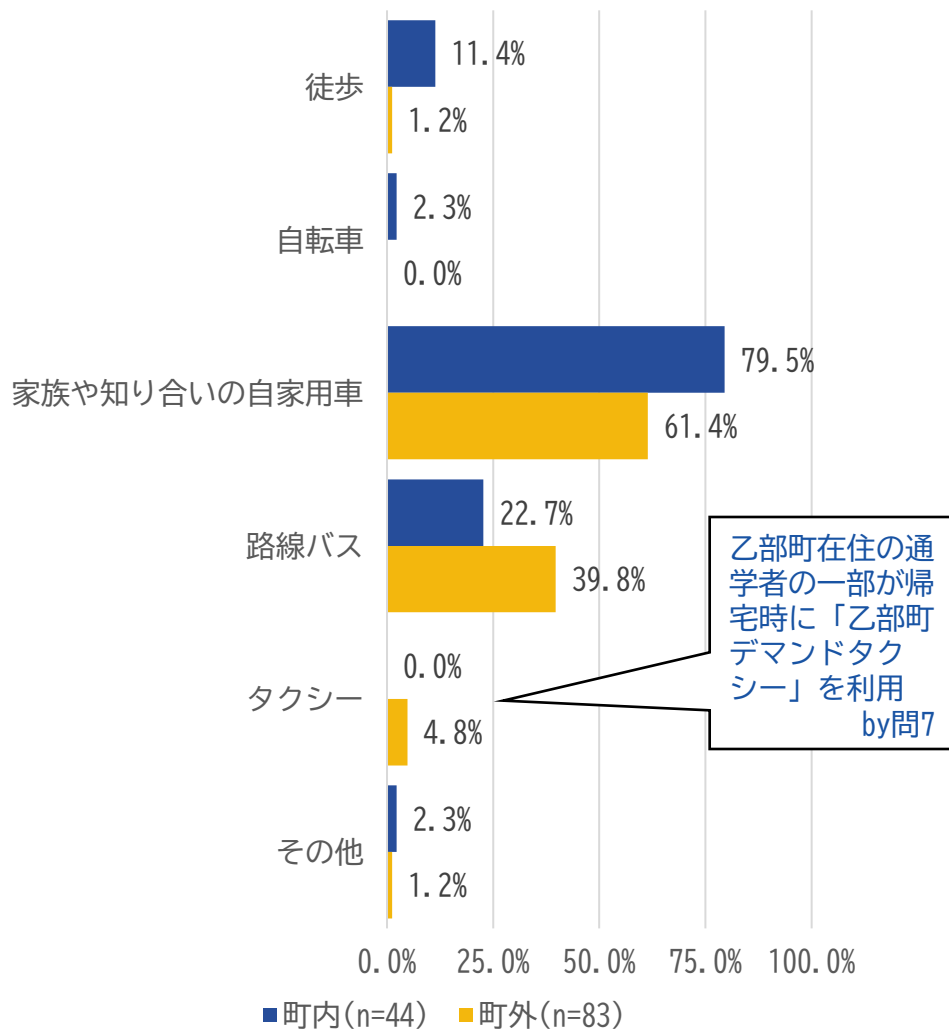
3. 調査結果詳細（生徒用） 3-2 通学状況）



問5 通学時の移動手段（行き）



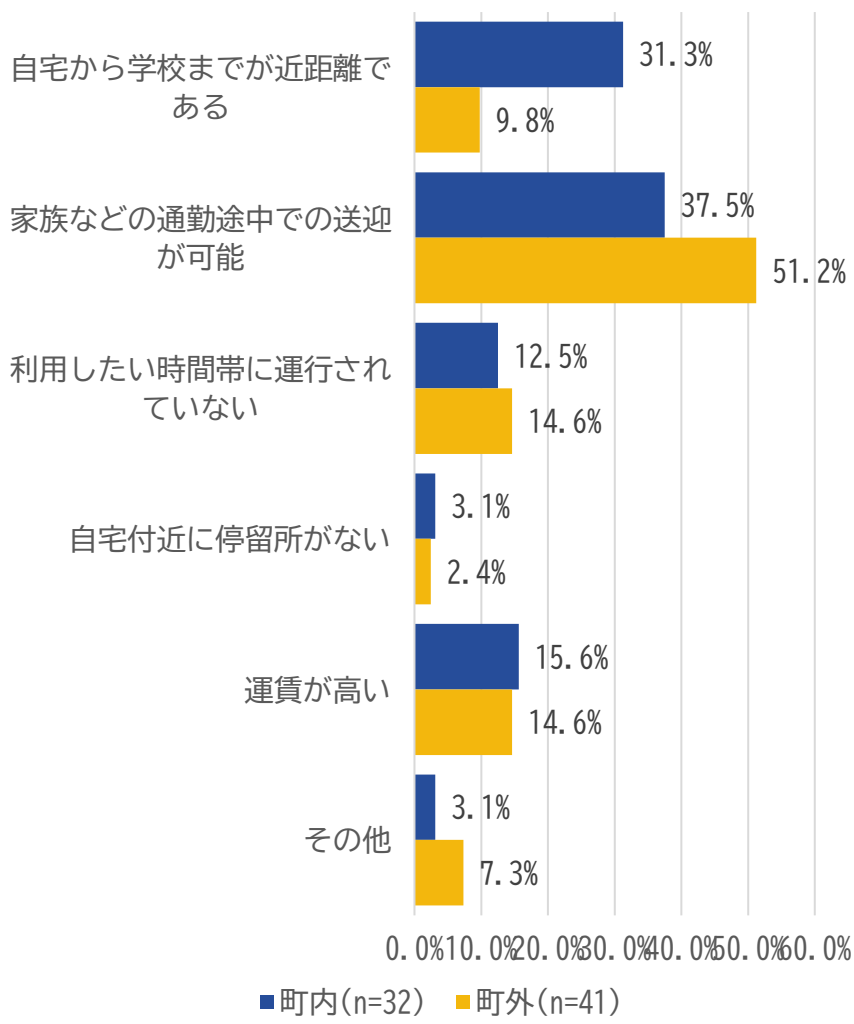
問5 通学時の移動手段（帰り）



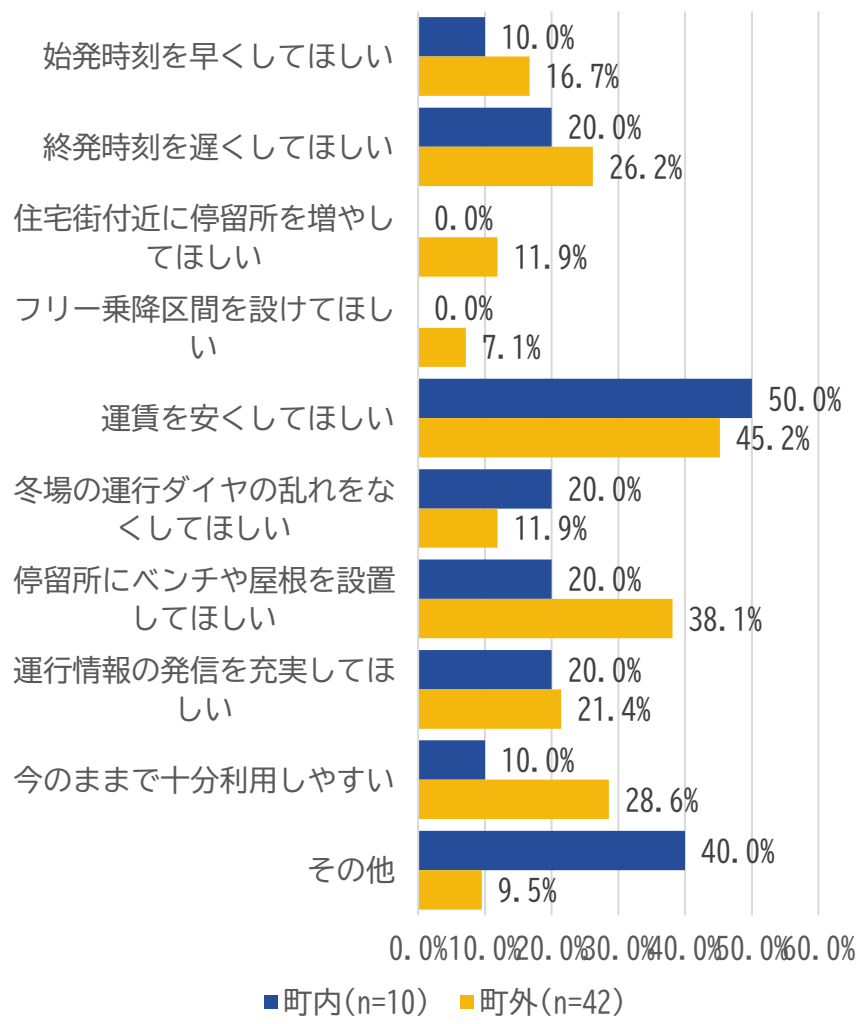


3. 調査結果詳細（生徒用） 3-3 公共交通への要望

問6 公共交通機関を利用していない理由



問9 公共交通の改善点



3. 調査結果詳細（生徒用） 3-3 公共交通への要望

問10 普段の通学で困っていること、不便に感じてること

■バスの運行時間が合わない（n=18）

【詳細内容】

- ・バスの帰りの時間が15時半しかなく、次が19時なので不便
- ・朝のバスはあるが帰りのバスがない
- ・掃除が長引いたときや、ホームルームが長引いたときに函館バスセンター行きの16時台のバスに間に合わない
- ・16時台のバスがないのが不便
- ・16時45分頃に江差高校に着くバスが欲しい
- ・部活が終わるのが17時くらいなので、17時20分くらいに函館行きのバスを運行してほしい
- ・18時に終わった時のバスがない
- ・夕方は1時間ごとに便を増やしてほしい
- ・熊石行きはお昼12時台から16時台までバスがないのもう何本かほしい
- ・間のバスがなくて長時間待たないとならないので少し不便
- ・日曜、祝日は学校に行ける時間のバスがないため、検定等がある場合厳しい
- ・休日や部活、模試テストのときにバスが利用できない
- ・部活が終わったらバスがなく、1時間以上待たなければならない
- ・平日お昼で終わった時、バスで帰ると自宅に着くのが遅すぎる
- ・3時間授業の時の待ち時間が長すぎる
- ・定期試験が3時間で終わるときにまっすぐ家に帰れないので、12時くらいに函館行きのバスを運行してほしい
- ・3時間目で学校が終わるとバスがない。早く終わった場合でも通常の時間で帰ることになるので、函館行きのバスの時間を増やしてくれたら帰れる時間が自由になる
- ・バスの始発時間がもう少し早いと早めに学校につける

■バス停が遠い（n=2）

【詳細内容】

- ・停留所が遠いので夜は暗くて怖い
- ・最寄りの停留所まで遠すぎて毎日バス停までの送り迎えが大変

■バスが混雑している（n=2）

【詳細内容】

- ・バスが狭いので朝座れない
- ・行きのバスが混みあって大変

■その他（n=2）

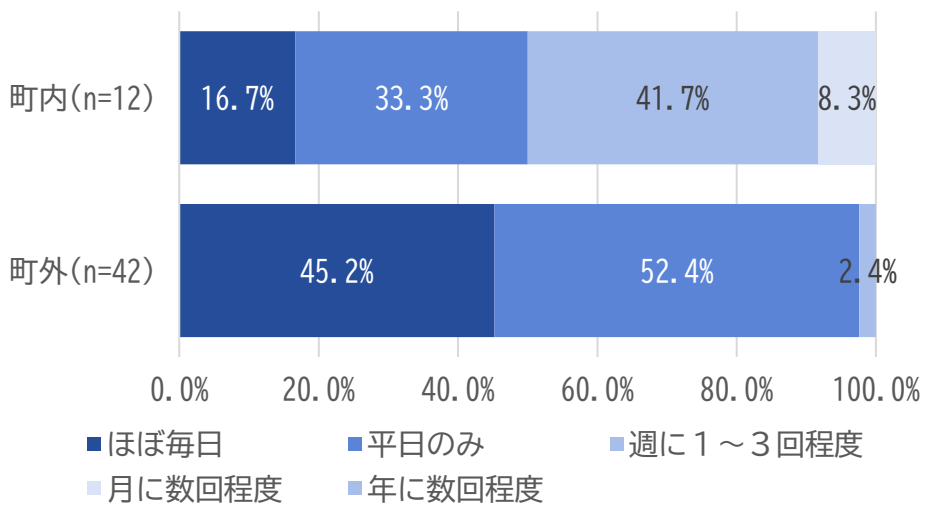
【詳細内容】

- ・バス利用に係る助成してほしい
- ・部活の荷物が多く、バスより車での送り迎えのほうが子供が少しでも休める

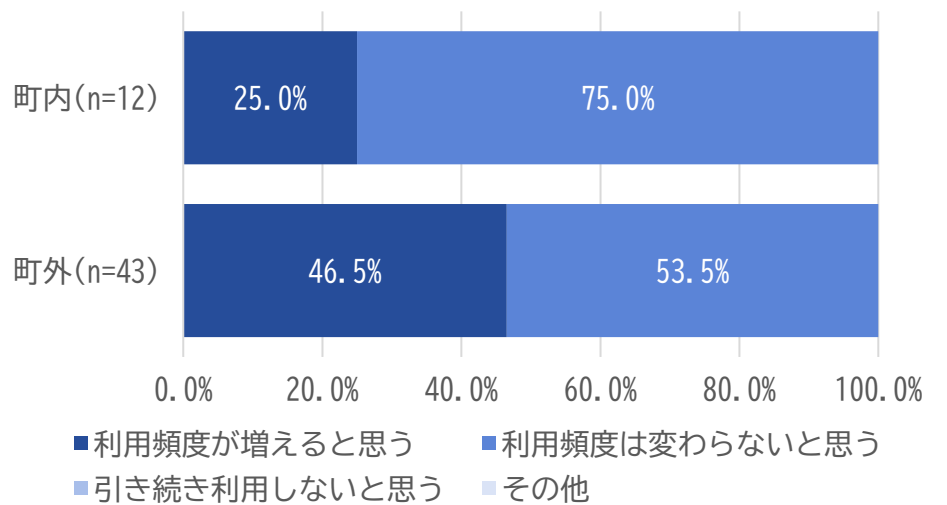


3. 調査結果詳細（生徒用） 3-4 公共交通の利便性改善時の利用頻度）

問8 公共交通の利用頻度



問11 公共交通が今よりも便利になった際の利用頻度の変化

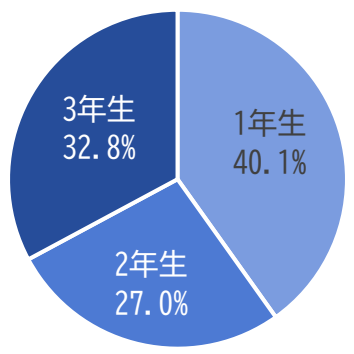




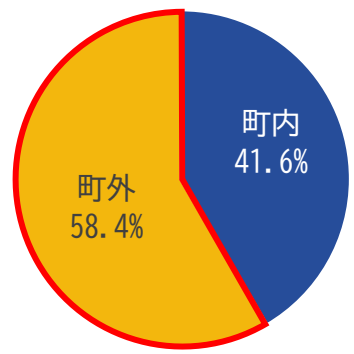
4. 調査結果詳細（保護者用）

4-1 回答者属性）

問1 お子様の学年 (n=137)



問2 居住状況 (n=137)

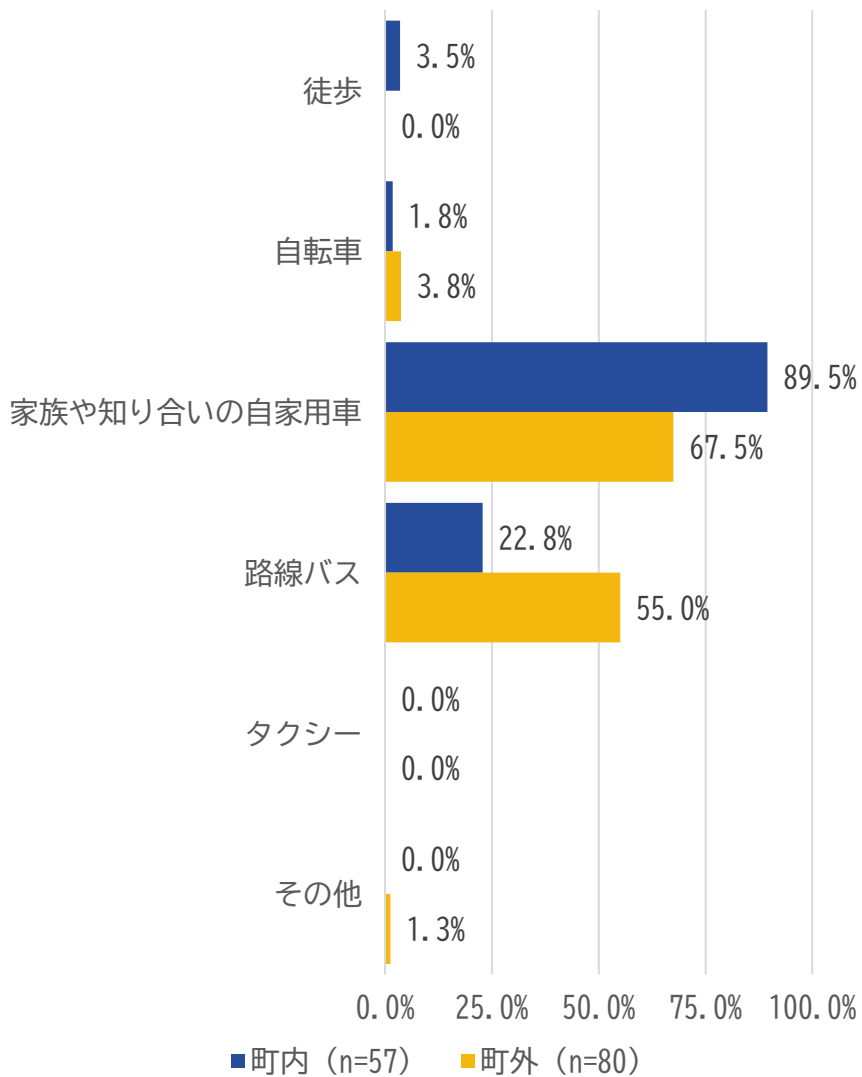


町外居住者の状況

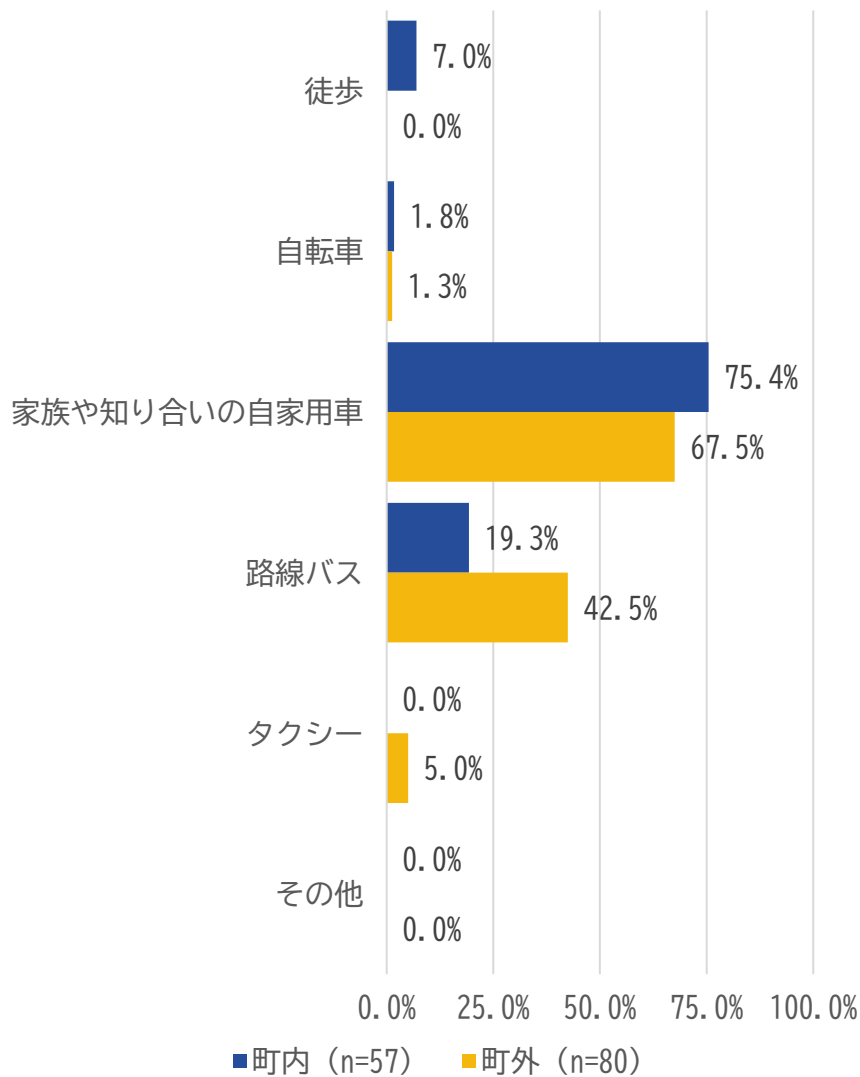
居住地	回答数	割合
乙部町	33	24.1%
上ノ国町	20	14.6%
厚沢部町	21	15.3%
八雲町	6	4.4%
町外合計	80	58.4%
町内合計	57	41.6%
総計	137	100.0%



問3 お子様の通学時の移動手段（行き）

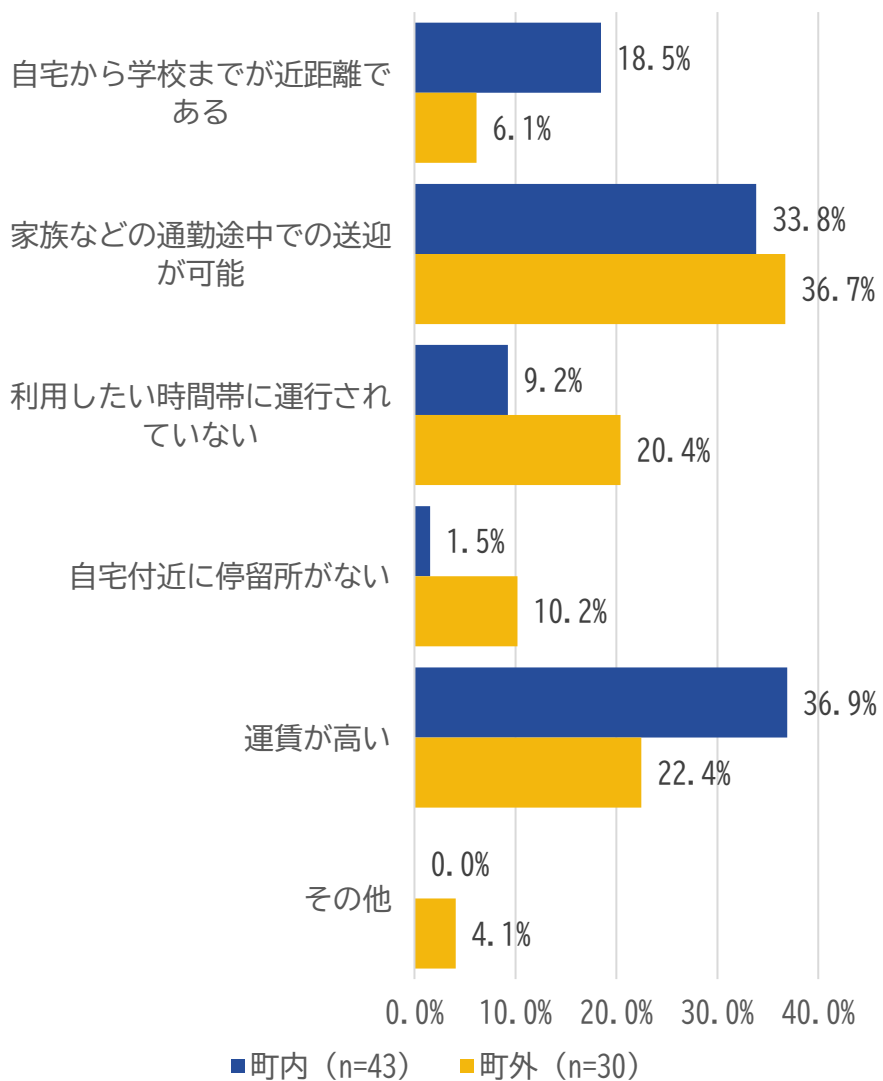


問3 お子様の通学時の移動手段（帰り）

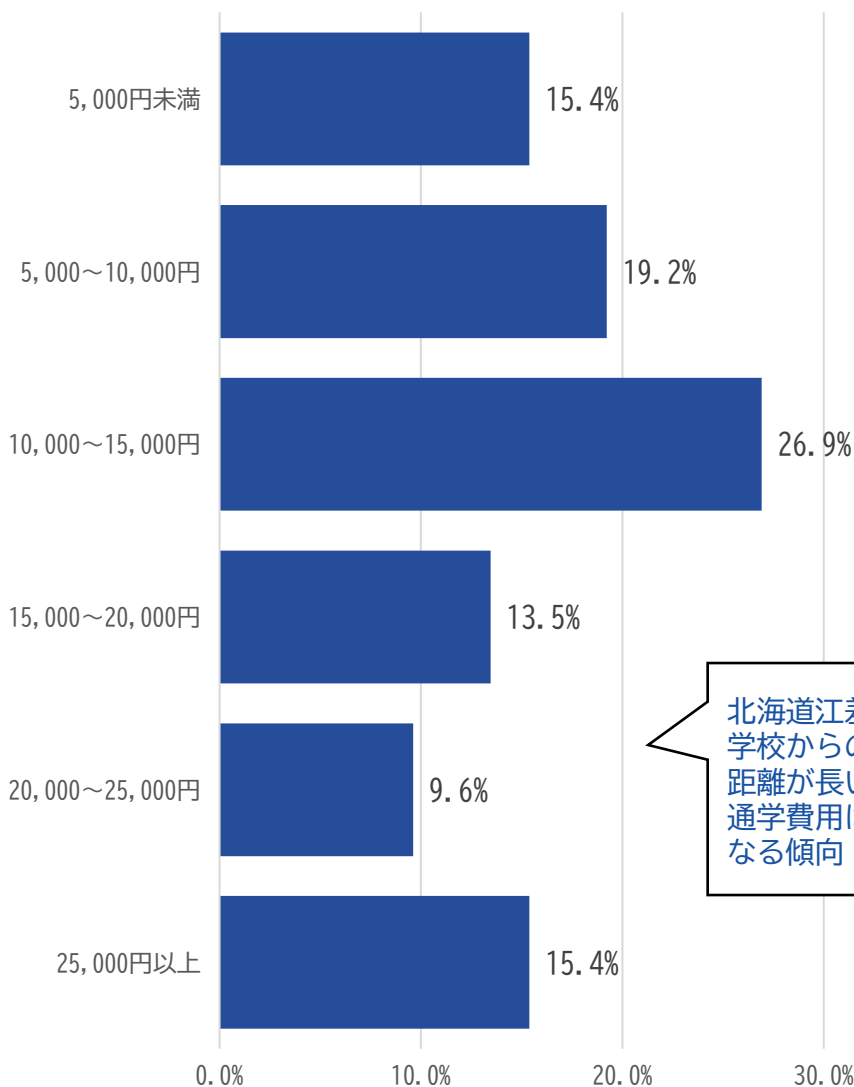




問4 公共交通機関を利用しない理由



問6 公共交通を利用した際の1か月の通学費用 (n=52)





問7 お子様の普段の通学で困っていること、不便に感じてること

■バスの運行時間が合わない (n=17)

【詳細内容】

- ・朝は学校に着くのが時間ギリギリ
- ・朝の通学用のバスの時間が早すぎるので使えない。午前授業のときもいい時間帯のバスがないので大変不便。本古内行きのバスは昼の時間帯に運行しているので直通で帰れるが、海方面のバスは昼12時18分に出発してもターミナルまでしかなく、乗り換えて家に着くのは14時頃になるので、昼ご飯が必要になる状態はどうかと思う。午前授業をやめてほしい。
- ・早く学校が終わるとちょうどいいバスがなく、待つか他の人に迎えを頼まなければならない
- ・テストのときなど午前で終わるときはバスの本数が少なく、待ち時間が長い
- ・バスの帰りの時間が15時半で、次が19時までないのでとても不便
- ・行きはバスの時間があるが、帰りの時間が合わないので1時間以上待つことになる
- ・下校時に早くなったり、遅くなった時にちょうどいいバスがない
- ・バスの本数は限られている中、下校時間がまちまちであるためバス通学させられない
- ・バスの運行時間がわかりづらい
- ・部活が後半のときの帰りのバスがない
- ・帰りの最終バスが18時のため、部活が18時15分までだと迎えに行かなければならない。冬は命がけて迎えに行けないので不安
- ・ちょうどいい時間のバスがなく部活が満足にできない
- ・定期を買っているが部活が遅いと結局帰りは迎えに行っている。乙部タクシーがあるが予約が面倒なので使っていない
- ・休日の部活で、部活の開始時間と終了時間とバスの時間が合わないの毎回送迎が必要となってしまう
- ・休日の部活の日、帰りのバスがない時間があり困っている
- ・土曜日の部活にバスが利用できない時間帯があるので、バスの時間帯にもう少し合わせてほしい
- ・土日が登校日になった時に、朝のバスがなくて困る

■運賃、定期代が高い (n=9)

【詳細内容】

- ・定期代が高い
- ・バス通学させたいが、通学費用が高く仕方なく送迎している
- ・バスの運賃が高いのでできる限り自家用車で送り迎えをしている
- ・運賃が自家用車送迎より高くつくことからバス通学させられない
- ・補助金がなくなったら高くて利用できない
- ・仕事のため送迎できないのでバスで通っているが定期代が高い
- ・今の運賃の半額か、スクールバスがあるといい
- ・往復で利用すると860円かかるのでもう少し低料金だったらもっと利用したい
- ・上ノ国優待でターミナルまではいいが、ターミナルから高校となると月の交通費が高い

■バス停が遠い (n=4)

【詳細内容】

- ・バス停が遠い
- ・バス停まで時間がかかる。帰りは歩くとなると街灯が少なく暗い
- ・バスの時、自宅付近に停留所がないので送迎が必要になる
- ・自宅近くにバス停がないため、4キロ離れたところまで送迎しなければならない

■バスが混雑している (n=3)

【詳細内容】

- ・バスで通学させたいが、生徒及び一般客で混雑し、乗れない状態が入学から現在まで続いている
- ・バスが混みすぎている
- ・バスの座席が足りない。部活道具と教科書を持ちながら立ちっぱなしは毎日大変そうです

4. 調査結果詳細（保護者用） 3-3 公共交通への要望）

問7 お子様の普段の通学で困っていること、不便に感じてること

■その他（n=10）

【詳細内容】

- ・送ってくるだけで30分かかり、1日の中で送迎に1時間費やす
- ・朝や部活など仕事の時間をずらさなければならない
- ・兄弟で帰宅時間帯が違うため何往復かしている状態で大変
- ・送迎の混み具合がすごい
- ・行き帰りの送迎は全然大丈夫なのですが、車のマナーの悪さに困っています。生徒が乗ったらすぐに出発しない、バスの停留所のところや旋回場で待っている車が邪魔で通行しにくい、列になっている車の前のほうが空いているのに車を前に移動しないなど。
- ・自家用車だと学校前の混雑で危うく衝突しそうになることもあるのでなるべく避けたいが、バス代もあるので車を使う。学校前の車列で間を詰めないで、旋回場付近で待機してそのままUターンする車がいるので危ない
- ・学校の駐車場を利用できれば、近隣住民や他の通行車両に迷惑がかからないと思う
- ・帰りのバスが江差高校前までこないで、江差高校入口まで間に合わないことが多い
- ・先輩、後輩など気を使いながら登校したくない
- ・色々な面で大変なことは多々ありますが、それを教えて学ぶのも良いことだと諦めてやっている



問8 公共交通機関についての改善策や要望

■バス運行本数の改善（n=15）

【詳細内容】

- ・朝は以前のように7時50分ぐらいのバスがあれば嬉しい、19時に部活が終わるときは19時台のバスがあればいい
- ・もう少し朝早い時間のバスがあれば登校時間に余裕が持てる
- ・行きのバスの台数を増やしてほしい
- ・下校時の12時くらいから13時くらいの時間も運行してほしい
- ・早退の時バスの本数が少ないので大変
- ・3時間授業や4時間授業の時に臨時で良いのでお願いしたい、17時半と18時半ごろにあると助かる
- ・せめて1時間に1本のバスが欲しい
- ・帰宅時間のバスの運行本数を少し増やしてほしい
- ・16時ごろにバスがあれば帰宅時に利用できる
- ・16時40分ごろのバスがあると嬉しい
- ・部活や委員会活動に対応できる時間があれば助かる
- ・夜19時半のバスがあると助かる
- ・17時40分と18時30分に乙部方面行きのバスを熱望します
- ・利用者が少ない理由で難しいとは理解しているが、12時台に出発する原口方面への便を運行してほしい
- ・土日祝日のバス運行をお願いしたい

■運賃割引及び定期代助成（n=6）

【詳細内容】

- ・定期代の補助を行ってほしい、一人でも大変ですが二人になったらもっとかかるので
- ・高校生にバス運賃の補助をお願いしたい
- ・運賃を安くしてほしい
- ・町の話だとバス利用が少ないらしいが、バス代が高額なため自家用車で通っているだけで、補助があるとバス利用が増えるのではと思う
- ・江高生学割か、片道200円なら毎日利用したい。
- ・上ノ国町の人は割引があるので、ターミナルでのやり方を改善してほしい

■バス停の増設（n=2）

【詳細内容】

- ・えぞだて公園付近にバス停があるとよい
- ・ヘリポート付近に停留所を設置してほしい

■スクールバス運行（n=2）

【詳細内容】

- ・スクールバス制
- ・通学専用バス運行と利用率向上による低運賃が実現できる仕組みづくり

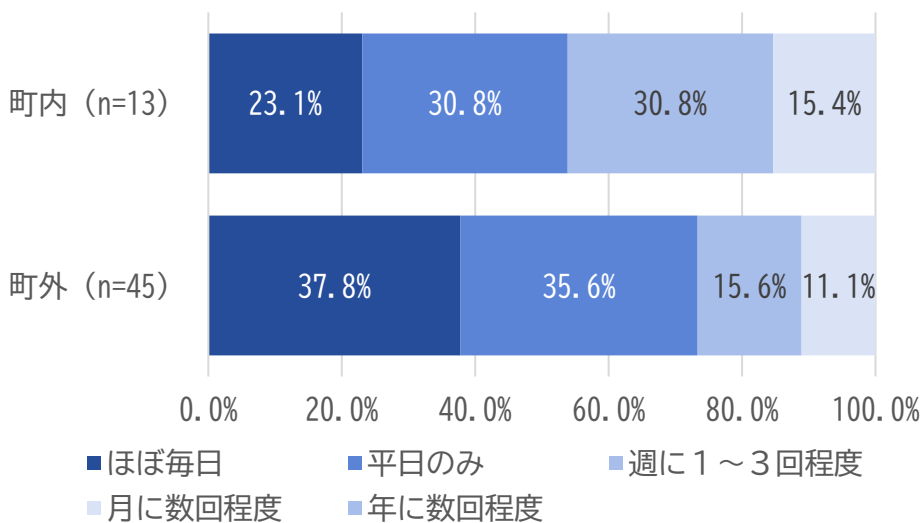
■その他（n=2）

【詳細内容】

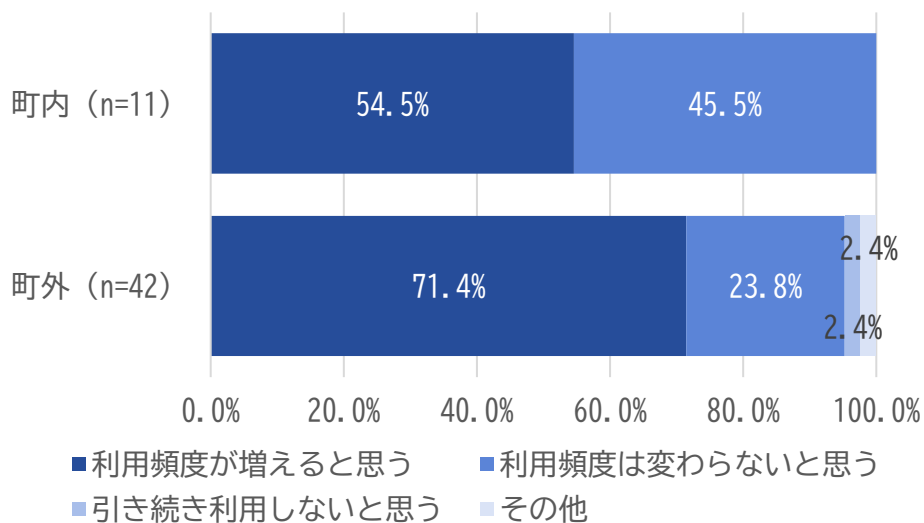
- ・学校の敷地も広大ですし、駐車場の新設を検討されては？近隣住民や通行車両に迷惑がかからないと思う
- ・バス停がなくてもフリー乗降であれば良い



問5 お子様の公共交通の利用頻度



問9 公共交通が今よりも便利になった際の利用頻度の変化



地域公共交通の維持・活性化を図る 収益循環モデル「江差マース」実装化 に向けた実証事業

概要資料





1. 町内公共交通の現状
2. 「江差マース」における収益循環モデルの構築
3. 経済産業省事業・国土交通省事業 採択
4. 本実証事業 実施概要



1. 町内公共交通の現状

2. 「江差マース」における収益循環モデルの構築

3. 経済産業省事業・国土交通省事業 採択

4. 本実証事業 実施概要

1. 町内公共交通の現状

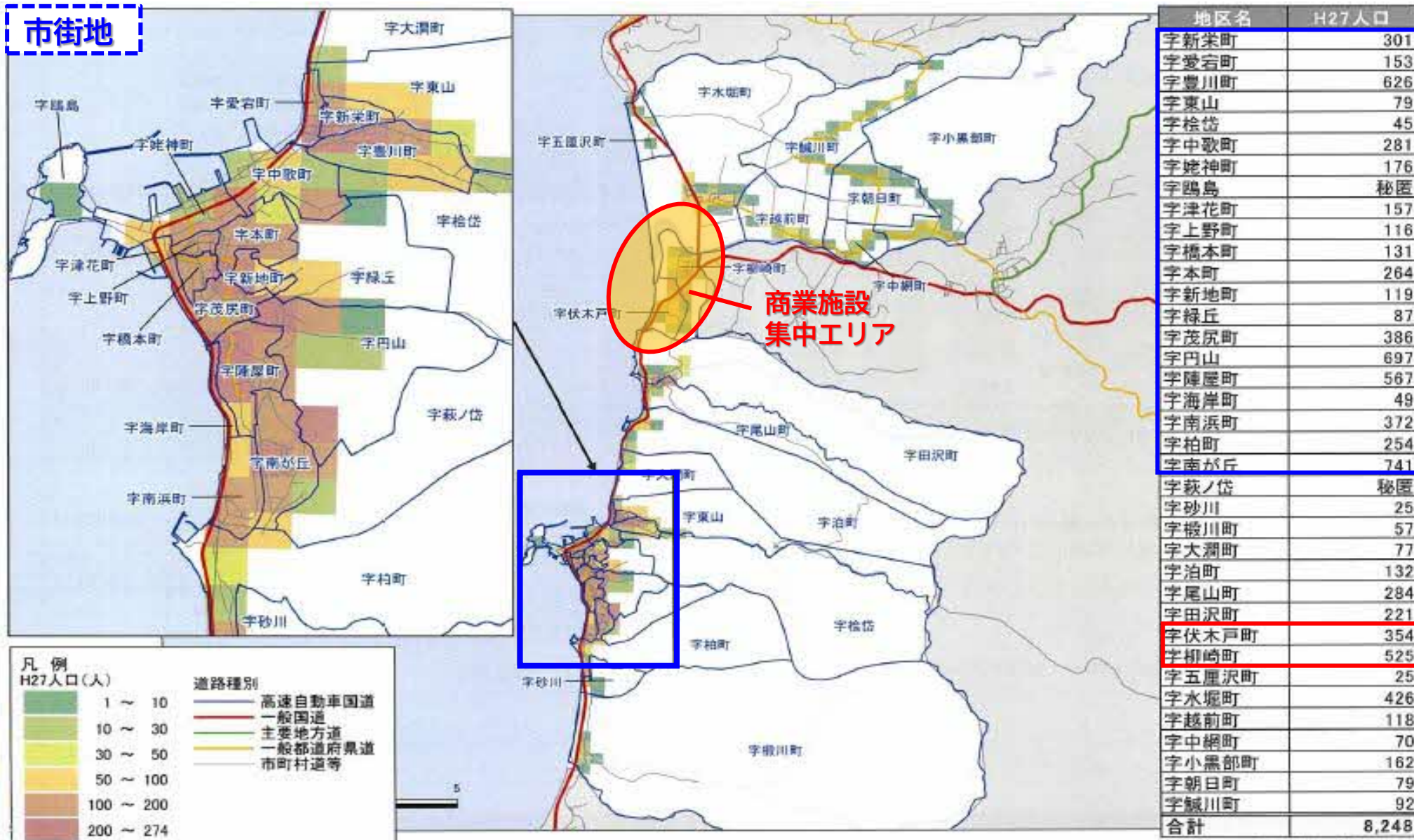
3



1-1 人口分布割合

出典：国勢調査（H27、5次(250m)メッシュ）

市街地



1. 町内公共交通の現状

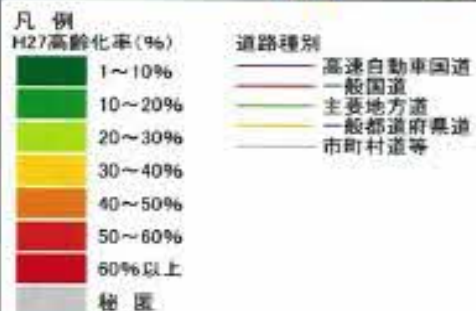
4



1-2 町内の高齢化率

市街地

出典：国勢調査（H27、5次(250m)メッシュ）



地区名	H27高齢化率
宇新栄町	32.2%
宇愛宕町	39.9%
宇豊川町	28.6%
宇東山	75.9%
宇松岱	48.9%
宇中歌町	39.1%
宇姥神町	61.4%
宇鷗島	秘匿
宇津花町	47.1%
宇上野町	28.4%
宇橋本町	35.9%
宇本町	33.3%
宇新地町	29.4%
宇緑丘	17.2%
宇茂尻町	43.5%
宇円山	18.7%
宇陣屋町	26.8%
宇海岸町	53.1%
宇南浜町	31.7%
宇柏町	44.9%
宇南が丘	24.7%
宇萩ノ岱	秘匿
宇砂川	4.0%
宇椴川町	49.1%
宇大瀬町	37.7%
宇泊町	47.0%
宇尾山町	41.9%
宇田沢町	43.9%
宇伏木戸町	14.1%
宇柳崎町	43.0%
宇五厘沢町	60.0%
宇水堀町	37.1%
宇越前町	39.0%
宇中綱町	37.1%
宇小黑部町	46.9%
宇朝日町	41.8%
宇鍼川町	57.6%
合計	34.4%



1-3 都市機能施設の立地状況

出典：国勢調査（H27、5次(250m)メッシュ）



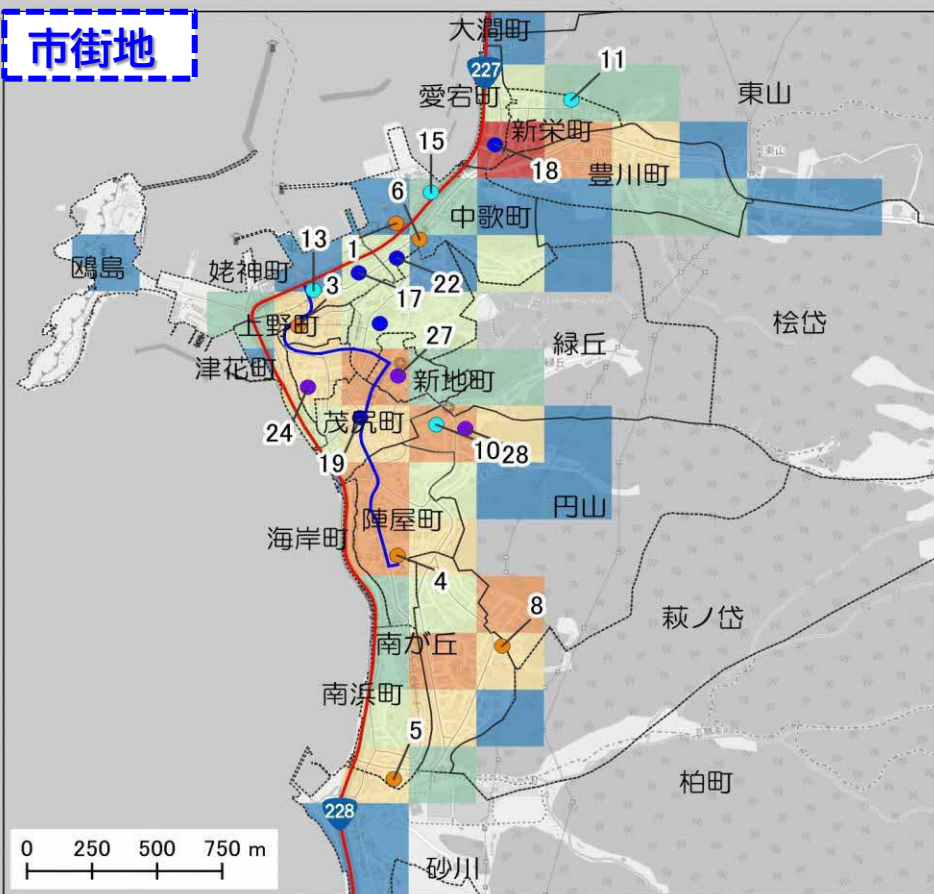
【現状】

- ・都市機能施設の多くが市街地（上町）及び伏木戸町に集積

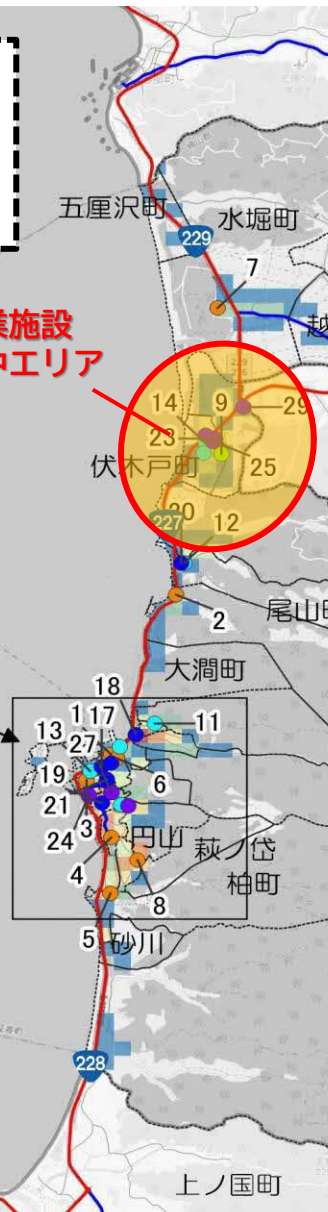
【検証ポイント】

- ・需要の高い商業施設等までのアクセス確保
- ・市街地以外の生活圏におけるオンデマンド交通の必要性

市街地



商業施設 集中エリア



分類	#	施設名称
公共施設	1	江差町役場
	2	泊生活館
	3	対鷗館
	4	陣屋団地集会施設
	5	五勝手生活館
教育施設	6	江差町会会館
	7	水堀コミュニティセンター
	8	南が丘ふれあいセンター
	9	北海道立江差高等学校
	10	生きがい交流センター
医療・福祉施設	11	老人福祉センター
	12	江差町子育て支援センター
	13	佐々木病院
	14	江差脳神経外科クリニック
	15	道南勤医協江差診療所
金融機関	16	北海道立江差病院
	17	江差郵便局
	18	江差愛宕郵便局
	19	江差茂尻郵便局
	20	江差尾山郵便局
商業施設	21	道南うみ街信用金庫本店
	22	北洋銀行江差支店
	23	フードセンターブンテン江差店
	24	ラルズマート江差店
	25	DCMホームマック江差柳崎店
	26	イエローグローブ江差店
	27	ツルハドラッグ江差新地町店
	28	サツドラ江差店
	29	サツドラ江差柳崎店

1. 町内公共交通の現状

6

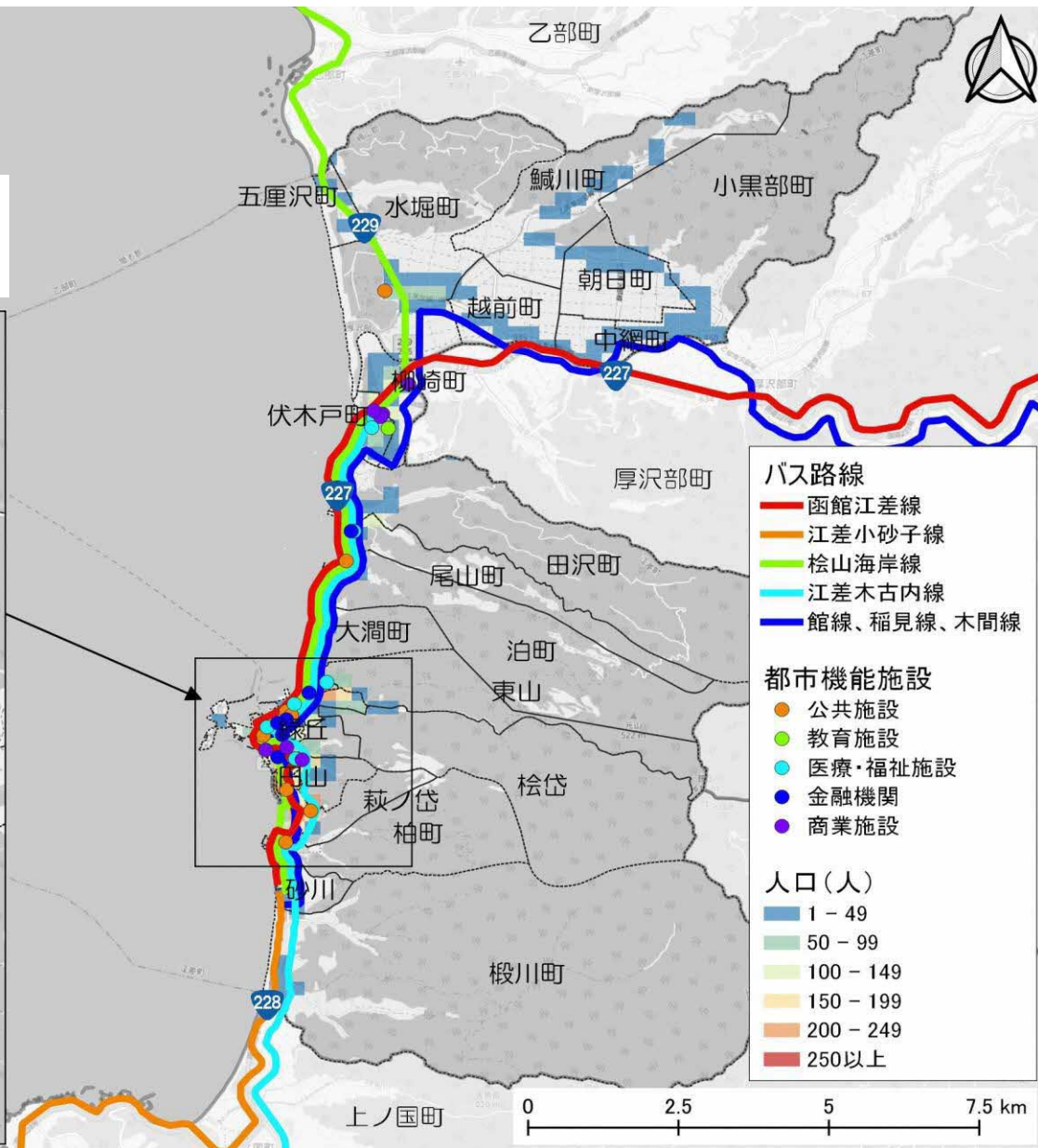
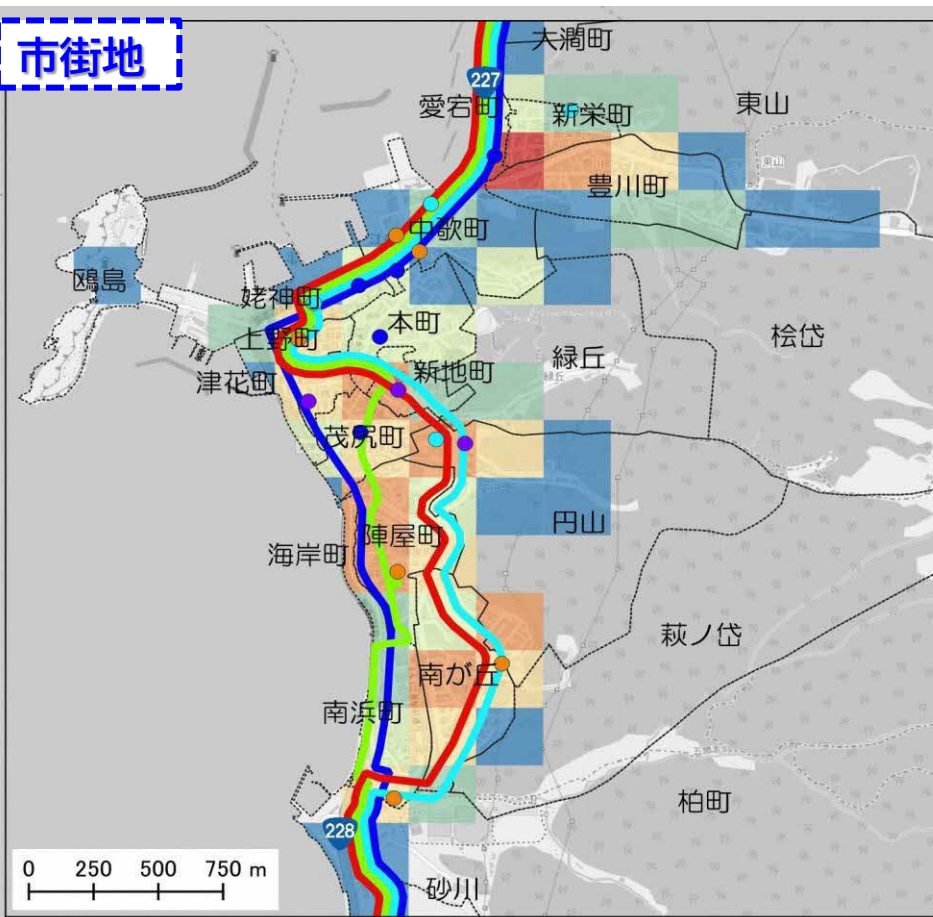


1-4 バス路線の運行状況

出典：国勢調査（H27、5次(250m)メッシュ）

【注意】館線、稲見線、木間線は、町内では同じ道路を走行しているが、厚沢部町内で走行箇所が変わる。本資料では館線（642系統）を記載。

市街地



1. 町内公共交通の現状

7



1-5 バス勢力圏の位置状況

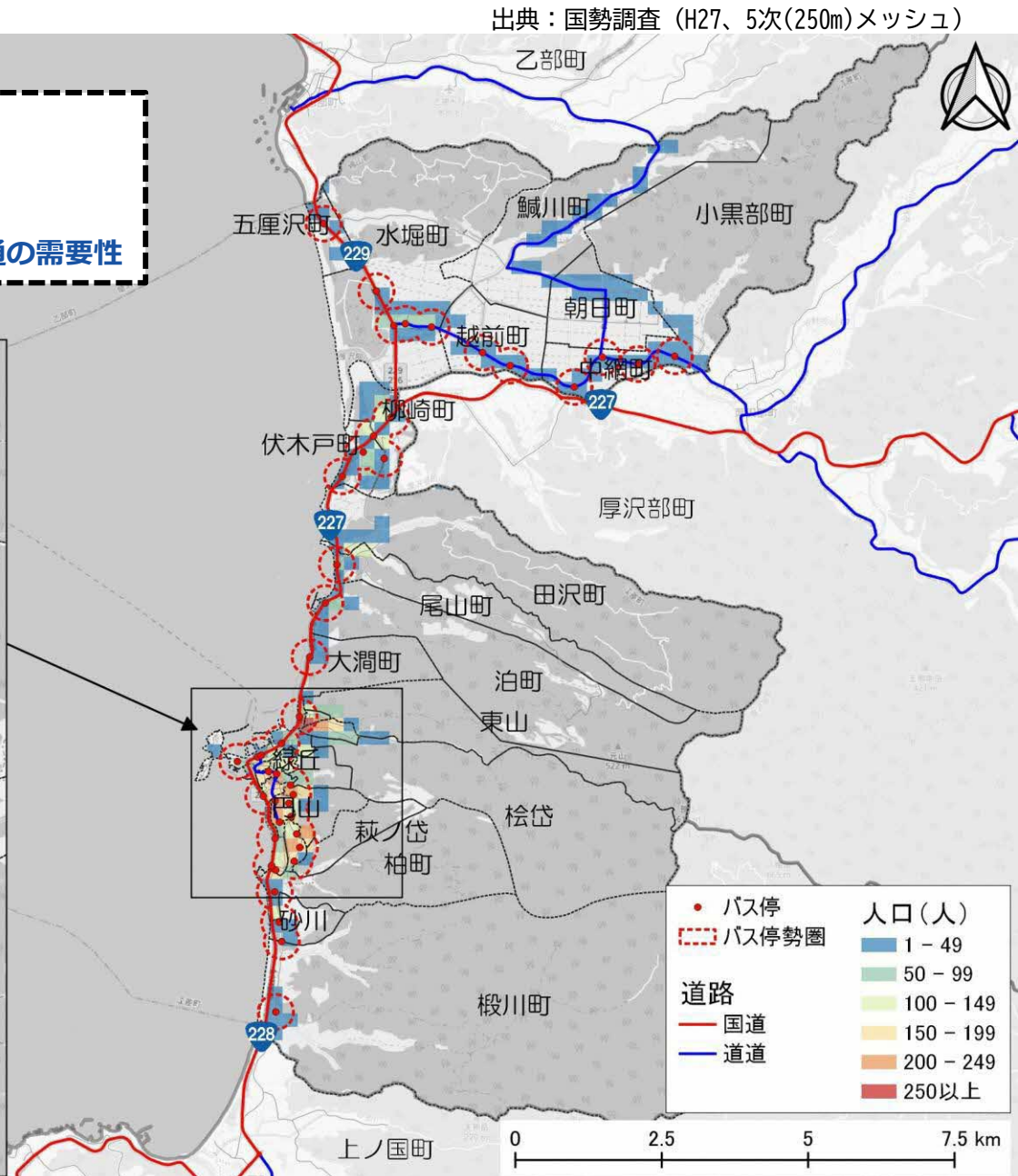
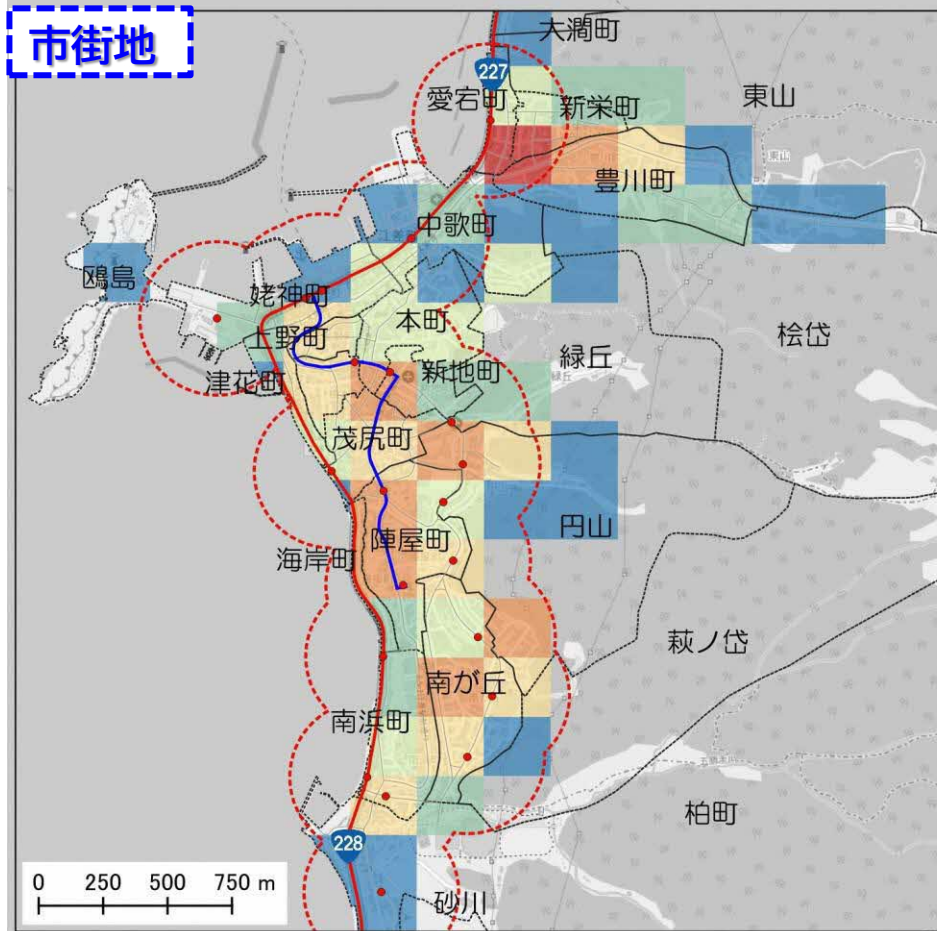
【現状】

- ・ 町民の54%がバス停勢力圏（300m）以内
- ・ 高齢化率の高い地域においてカバー率が低調

【検証ポイント】

- ・ 市街地や農村部などの交通空白地域におけるオンデマンド交通の必要性

市街地



1. 町内公共交通の現状

8



1-6 バス勢力圏における人口割合

地域名	人口 (人)	バス勢力圏 人口 (人)	バス勢力圏 人口割合	高齢化率
新栄町	301	187	62.3%	32.2%
愛宕町	153	153	100.0%	39.9%
豊川町	626	56	8.9%	28.6%
東山	79	1	0.7%	75.9%
桧岱	45	0	0.0%	48.9%
中歌町	281	176	62.5%	39.1%
姥神町	169	169	100.0%	63.9%
鷗島	7	0	4.2%	0.0%
津花町	157	152	97.1%	47.1%
上野町	116	116	100.0%	28.4%
橋本町	131	131	100.0%	35.9%
本町	264	227	86.2%	33.3%
新地町	119	119	100.0%	29.4%
緑丘	87	11	12.8%	17.2%
茂尻町	386	386	100.0%	43.5%
円山	697	233	33.5%	18.7%
陣屋町	567	567	100.0%	26.8%
海岸町	49	49	100.0%	53.1%
南浜町	372	372	100.0%	31.7%

地域名	人口 (人)	バス勢力圏 人口 (人)	バス勢力圏 人口割合	高齢化率
柏町	254	15	5.7%	44.9%
南が丘	734	734	100.0%	24.9%
萩ノ岱	7	1	10.9%	0.0%
砂川	25	9	37.3%	4.0%
楢川町	57	1	1.5%	49.1%
大潤町	77	6	8.4%	37.7%
泊町	132	3	2.3%	47.0%
尾山町	284	15	5.1%	41.9%
田沢町	221	1	0.6%	43.9%
伏木戸町	354	261	73.8%	14.1%
柳崎町	525	203	38.6%	43.0%
五厘沢町	25	9	35.0%	60.0%
水堀町	426	38	9.0%	37.1%
越前町	118	30	25.1%	39.0%
中網町	70	29	40.8%	37.1%
小黒部町	162	7	4.3%	46.9%
朝日町	79	2	3.1%	41.8%
鯨川町	92	0	0.0%	57.6%
江差町全体	8,248	4,468	54.2%	34.4%

赤文字 : バス勢力圏人口割合が町全体 (54.2%) より低い
: 高齢化率が町全体 (34.4%) より高い

1. 町内公共交通の現状

9



1-7 路線バスでアクセス可能な都市機能施設

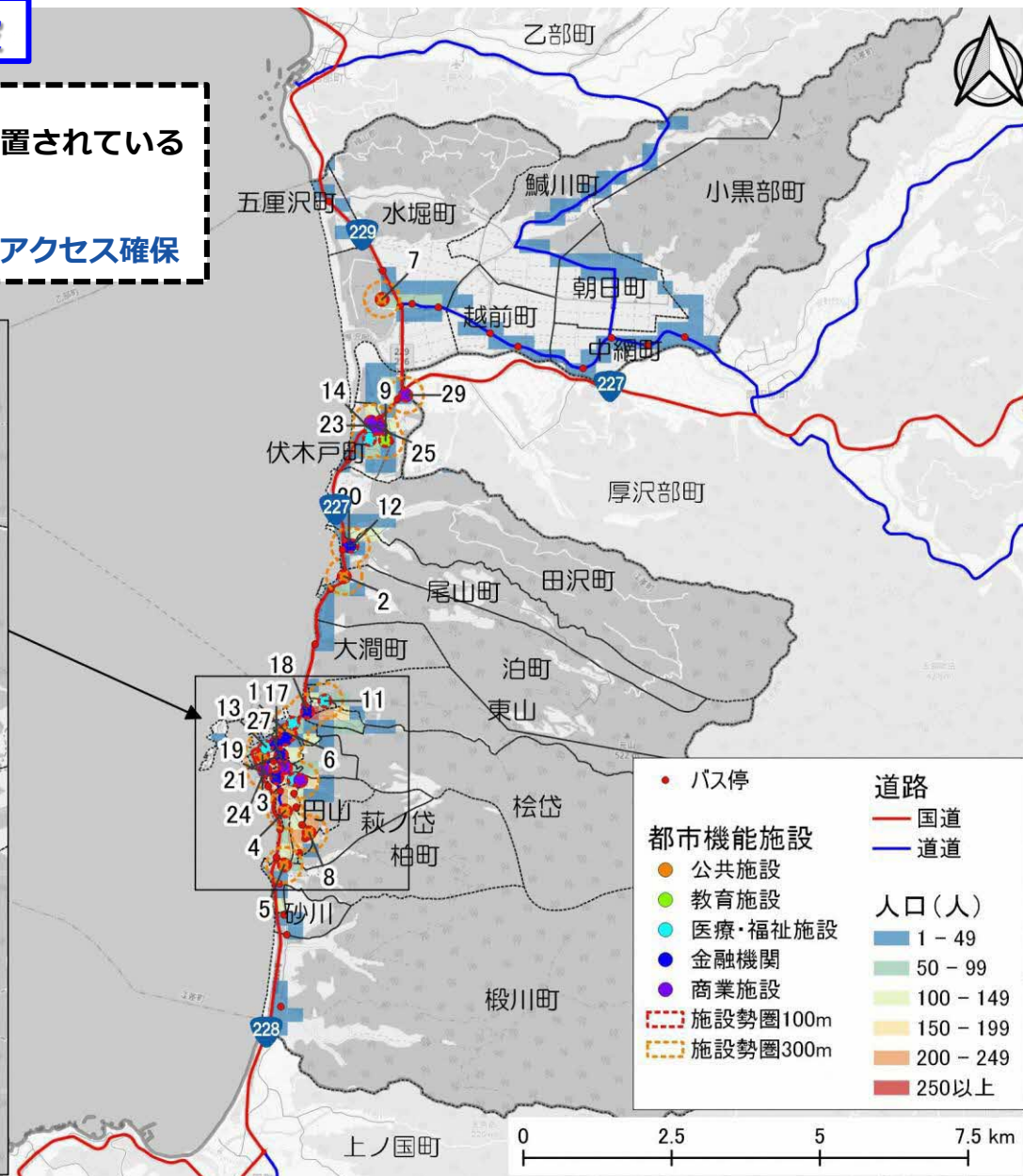
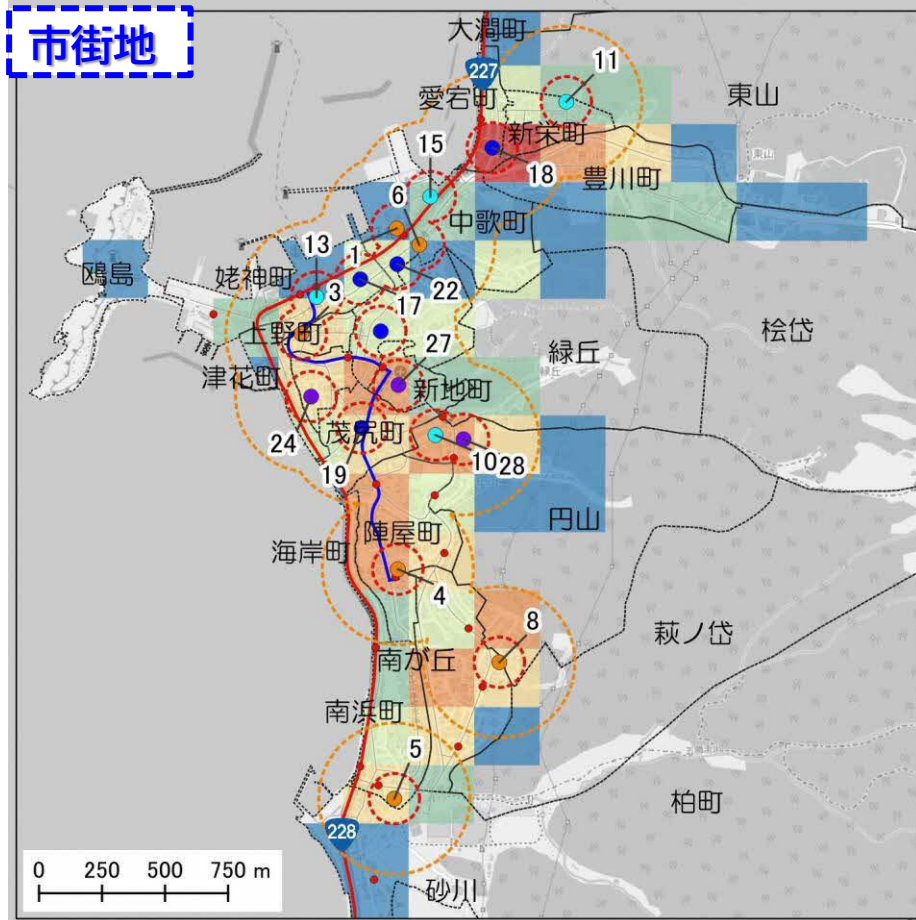
【現状】

- 都市機能施設（29箇所）のうち、バス停が100m以内に設置されている施設は約3割（9箇所）

【検証ポイント】

- バス停からの距離が100m以上離れている都市機能施設へのアクセス確保

市街地





1-8 都市機能施設の位置関係

都市機能施設	施設名称	100m圏	300m圏	都市機能施設	施設名称	100m圏	300m圏
公共施設	江差町役場	○	○	金融機関	江差郵便局	-	○
	泊生活館	-	-		江差愛宕郵便局	-	○
	対鷗館	-	○		江差茂尻郵便局	-	○
	陣屋団地集会施設	○	○		江差尾山郵便局	-	○
	五勝手生活館	○	○		道南うみ街信用金庫本店	-	○
	江差町会会館	-	○		北洋銀行江差支店	-	○
	水堀コミュニティセンター	-	-	商業施設	フードセンターステン江差店	-	○
	南が丘ふれあいセンター	-	○		ラルズマート江差店	-	○
教育施設	北海道立江差高等学校	○	○		DCMホームック江差柳崎店	-	○
医療・福祉施設	生きがい交流センター	○	○		イエローグローブ江差店	-	○
	老人福祉センター	-	-		ツルハドラッグ江差新地町店	○	○
	江差町子育て支援センター	-	○		サツドラ江差店	○	○
	佐々木病院	○	○		サツドラ江差柳崎店	-	○
	江差脳神経外科クリニック	○	○				
	道南勤医協江差診療所	-	○				
	北海道立江差病院	○	○				

100m圏、300m圏：各施設より100m・300mに、バス停があるものは「○」



1. 町内公共交通の現状

2. 「江差マース」における収益循環モデルの構築

3. 経済産業省事業・国土交通省事業 採択

4. 本実証事業 実施概要



2-1 事業スキーム

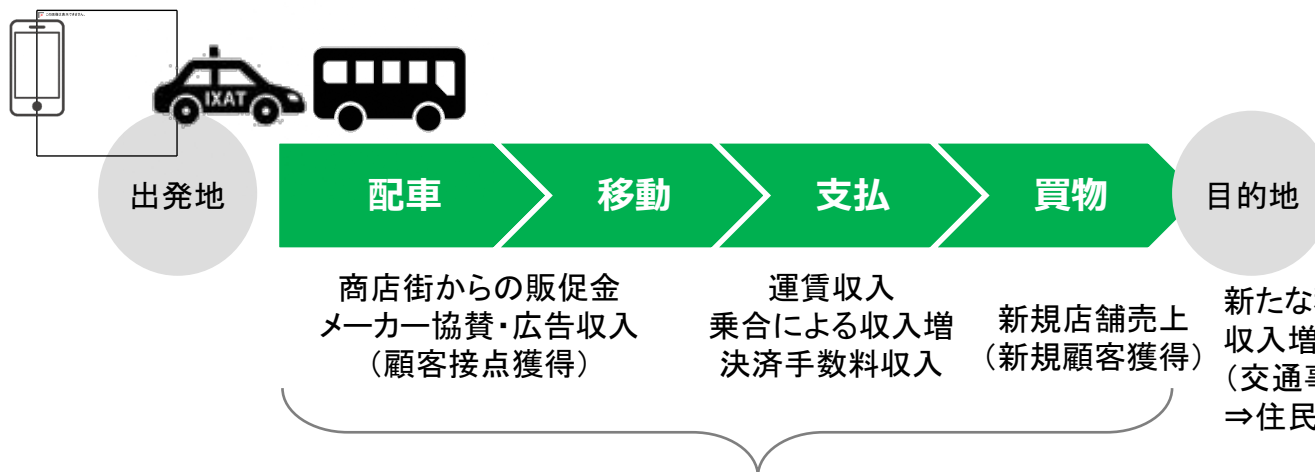
新たな交通サービスを単なる移動手段に留めるのではなく「移動」を地域の小売事業者等と連携した「地域経済の活性化」を促すものとして捉え、その過程で得られた収益を還元していくモデルを検討

交通事業者単独の事業



人口減少等による収入減・維持困難
⇒住民利便性の低下

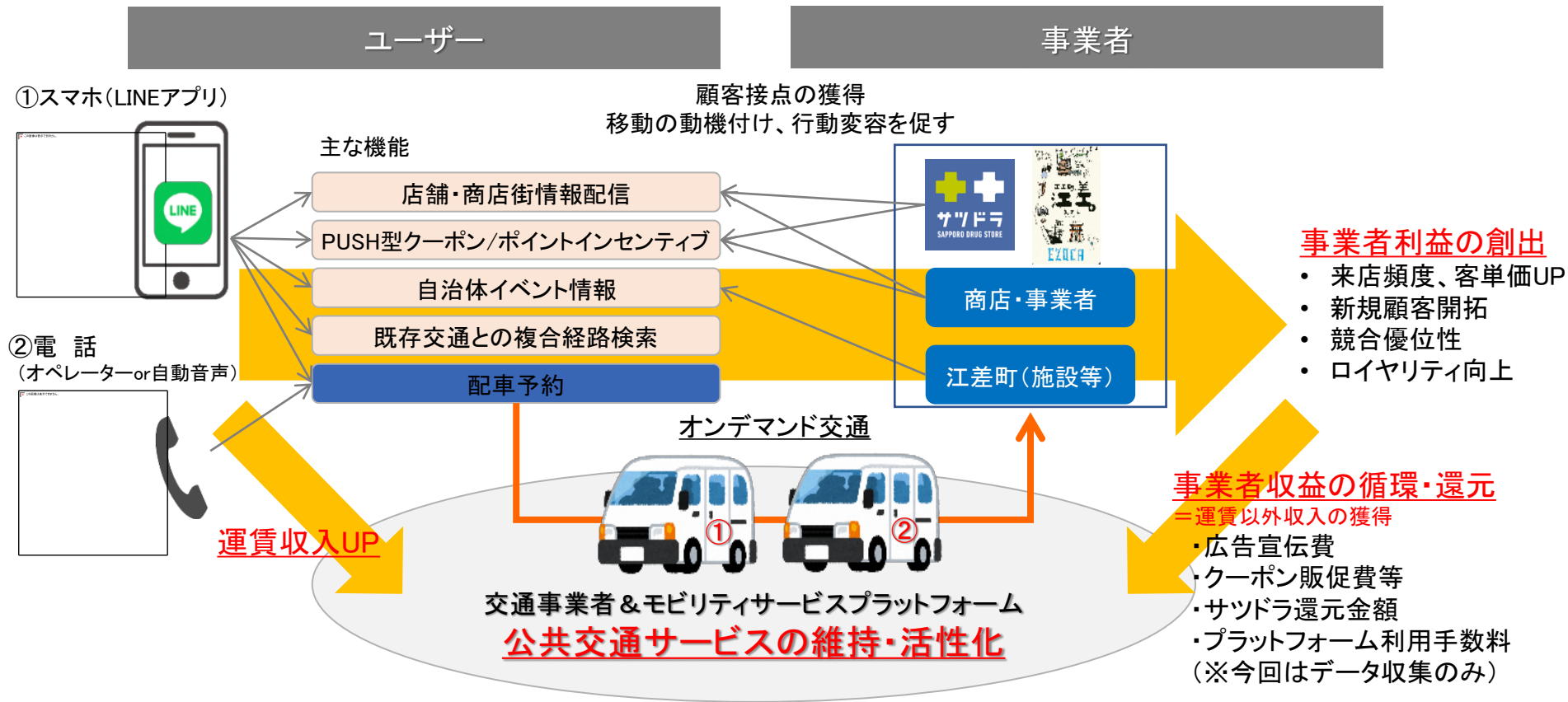
「江差マース」における収益循環モデル



本事業においては移動に連動して派生する一連のアクティビティのデータを取得することで、新たな移動が発生することによる事業収益がどの程度増加するか、どれくらいの還元が行えるか、それら可能性の検証・分析を本実証事業で実施



2-2 サービス全体イメージ



公共交通の維持・発展が図られる事業の継続性に考慮したサービス

⇒ オンデマンド交通による交通事業者の運行効率化・運賃収入以外の収益確保

サツドラHDとの共創により生まれる、「移動」×「買い物」の地域経済の活性化をもたらす収益循環モデル

⇒ 実装化に向けて交通事業者や自治体の補助金など単独事業者（自治体）の負担に頼らない、異業種との連携による運賃以外の収入を得るサービスモデルを構築



1. 町内公共交通の現状

2. 「江差マース」における収益循環モデルの構築

3. 経済産業省事業・国土交通省事業 採択

4. 本実証事業 実施概要



令和4年度スマートモビリティチャレンジの先進パイロット地域（経産省事業）として11地域を選定

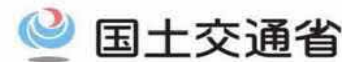


1	北海道	北海道江差町
2	東北	福島県浪江町
3	関東	埼玉県入間市
4	関東	長野県塩尻市
5	中部	愛知県名古屋市
6	中部	三重県6町 (多気町/大台町/明和町/度会町/大紀町/紀北町)
7	近畿	奈良県川西町
8	中国	鳥取県米子市、大山町、伯耆町
9	四国	愛媛県伊予市
10	沖縄	沖縄県恩納村
11	沖縄	沖縄県北谷町

● 先進パイロット地域（経産省事業）



共創モデル実証プロジェクト(共創による地域交通形成支援事業)



- 交通を地域の暮らしと一体で捉え、行政や金融機関と連携して取り組む、様々な分野（エネルギー、医療、教育など）との垣根を越えた「共創型交通」のプロジェクトに対し、実証運行等への予算補助や助言、ウェブサイトへの掲載等を通じた伴走支援を行いつつ、事業スキームの構築やファイナンスに係る課題を整理、横展開を目指す。

共創モデル実証プロジェクト

- 交通を地域の暮らしと一体として捉え、その維持・活性化を目的として、複数の主体が連携して行う取組を支援。
- 実証運行の経費等を補助するとともに、**実地伴走型のフォロー**を行うことにより、課題等を整理し、横展開をすることで、地域交通の持続可能性と利便性を高めることを目指す。

2022.4～5 - 2022.6 → ～2023.3

公募

選定

実証事業

【採択事業へのサポート】

1. 事業費用の2/3を補助

補助対象経費に対し、2/3（上限2,000万円）を補助。

2. 伴走支援（運輸局の助言、ウェブサイトでの周知等）

採択事業については、運輸局で適宜フォローするとともに、ウェブサイトへの掲載等を通じ、積極的に周知を行う。

【参考：特設ウェブサイト】

地域交通 共創

検索

URL :
<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/transport/kyousou/index.html>



共創プラットフォーム

分野の境界を越えた地域の暮らしのためのプロジェクトを担う連携スキーム



医療×交通



介護×交通



エネルギー×交通



住宅×交通



教育×交通



農業×交通

事業に関与

自治体・金融機関

立ち上げ支援

共創モデル実証プロジェクト

3. 経済産業省事業・国土交通省事業 採択 ～国土交通省事業～

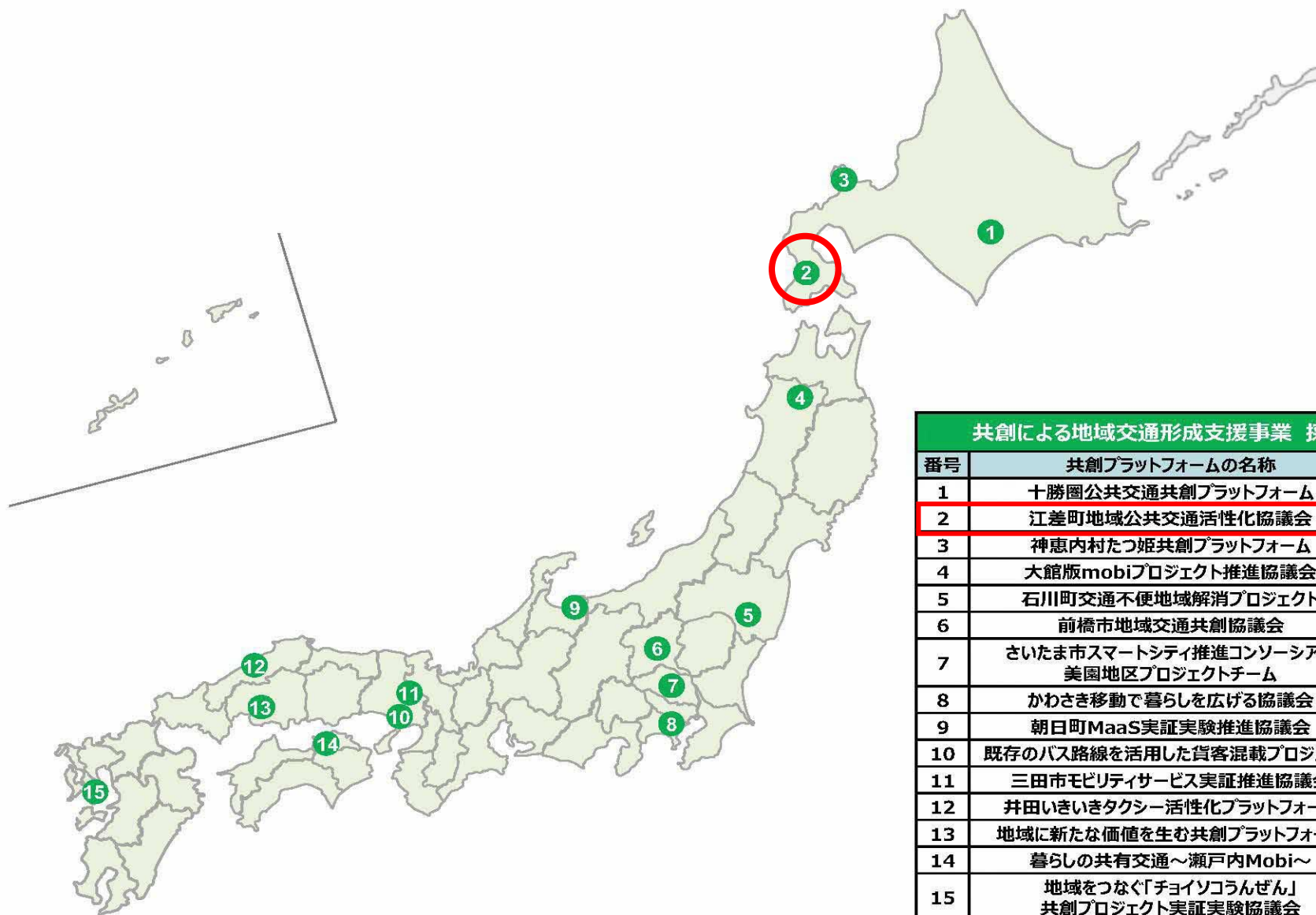
17



共創モデル実証プロジェクト(共創による地域交通形成支援事業) 採択案件一覧



国土交通省



共創による地域交通形成支援事業 採択案件 (全15件)

番号	共創プラットフォームの名称	事業実施地域
1	十勝圏公共交通共創プラットフォーム	北海道帯広市
2	江差町地域公共交通活性化協議会	北海道江差町
3	神恵内村たつ姫共創プラットフォーム	北海道神恵内村
4	大館版mobiプロジェクト推進協議会	秋田県大館市
5	石川町交通不便地域解消プロジェクト	福島県石川町
6	前橋市地域交通共創協議会	群馬県前橋市
7	さいたま市スマートシティ推進コンソーシアム 美園地区プロジェクトチーム	埼玉県さいたま市
8	かわさき移動で暮らしを広げる協議会	神奈川県川崎市
9	朝日町MaaS実証実験推進協議会	富山県朝日町
10	既存のバス路線を活用した貨客混載プロジェクト	兵庫県神戸市
11	三田市モビリティサービス実証推進協議会	兵庫県三田市
12	井田いきいきタクシー活性化プラットフォーム	島根県大田市
13	地域に新たな価値を生む共創プラットフォーム	広島県熊野町
14	暮らしの共有交通～瀬戸内Mobi～	香川県三豊市
15	地域をつなぐ「チョイスコラんぜん」 共創プロジェクト実証実験協議会	長崎県雲仙市



1. 町内公共交通の現状
2. 「江差マース」における収益循環モデルの構築
3. 経済産業省事業・国土交通省事業 採択
- 4. 本実証事業 実施概要**

4. 本実証事業 実施概要

～経済産業省事業～

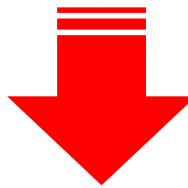
19



項目	内容	補足
実証期間	2か月間 (令和4年10月～令和4年11月)	・事業者の業務体制と調整し 運行日時を決定
運送形態	オンデマンド交通 ※ 運行時間内において自宅・ 設定した乗降地点間を利用者の 予約時刻に応じて送迎	・商業施設等を乗降地点に 設定し、AIによる配車計算シス テム(SAVS)を活用し運行 ・バス停やフェリー乗り場を乗 降地点化することでバス・ フェリー利用者の乗車も想定
運送事業者	有限会社松山ハイヤー	道路運送法第21条許可を想定
運送車両	ジャンボハイヤー(定員10名)	・自社車両1台を想定
運賃	有 料 ※ エリアごとに設定(通常運賃・ サブスク(定額)運賃)	・利用者データの分析のため、 利用者によるEZOCAカードの 所有を義務化
配車予約	① スマホアプリ ② 電話(自動音声) ※ 主要店舗にタブレット端末の 設置を想定	・(株)駅探・(株)未来シェア開発の システムを活用
対象 エリア	上町～下町地域	・令和4年2月実証実験と 同エリアを想定



(令和3年度：ジャンボハイヤー1台)



【路線バス経路と実証フィールド】



4. 本実証事業 実施概要 ～国土交通省事業～

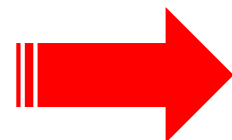
20



項目	内容	補足
実証期間	2か月間(令和4年12月～令和5年1月)	・事業者の業務体制と調整し運行日時を決定
運送形態	オンデマンド交通 ※ 運行時間内において自宅・設定した乗降地点間を利用者の予約時刻に応じて送迎	・町内の商業施設等を乗降地点に設定し、AIによる配車計算システム(SAVS)を活用し運行 ・フェリー乗り場を乗降地点化することでフェリー利用者の乗車も想定
運送事業者	① 有限会社松山ハイヤー ② 函館バス株式会社	・江差町を実施主体とする道路運送法第78条(自家用有償旅客運送)による運用を想定
運送車両	① ジャンボハイヤー(定員10名) ② ワゴン車両(トヨタハイエース/定員10名)	・①は自社車両、②はレンタカーによる車両手配を想定
運賃	有料 ※ エリアごとに設定(通常運賃・サブスク(定額)運賃)	・利用者データの分析のため、利用者によるEZOCAカードの所有を義務化
配車予約	① 携帯端末(スマホアプリ・電話(自動音声))による予約 ② 電話予約	・①は(株)駅探・(株)未来シェア開発のシステムを、 ②はオペレーター業務を函館バスに業務委託
対象エリア	江差町内全域	・町内を北部エリア、南部エリアに区分けし、各エリア内での運行



(令和3年度：ジャンボハイヤー1台)



前年度から
リソース拡大(増車)



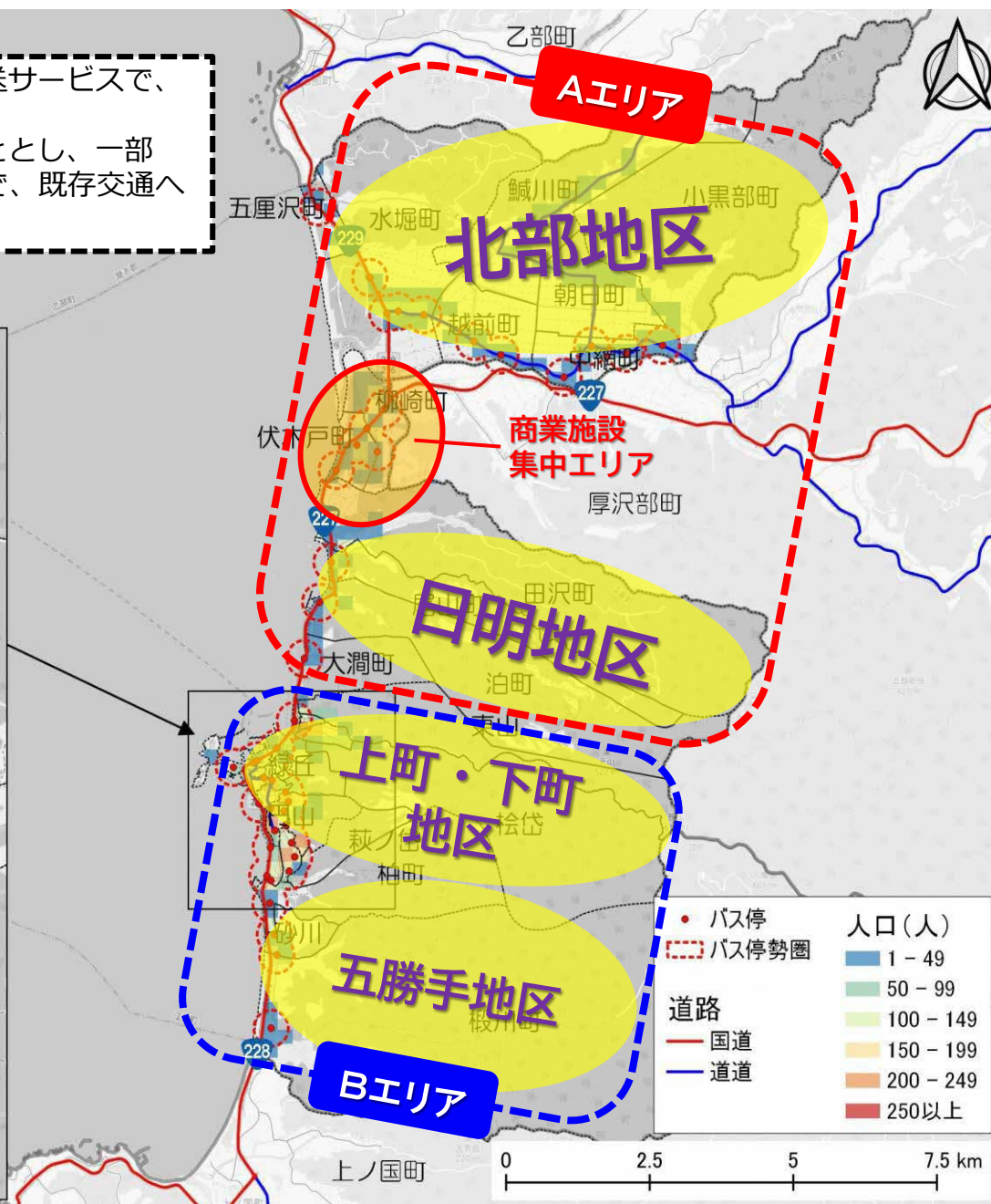
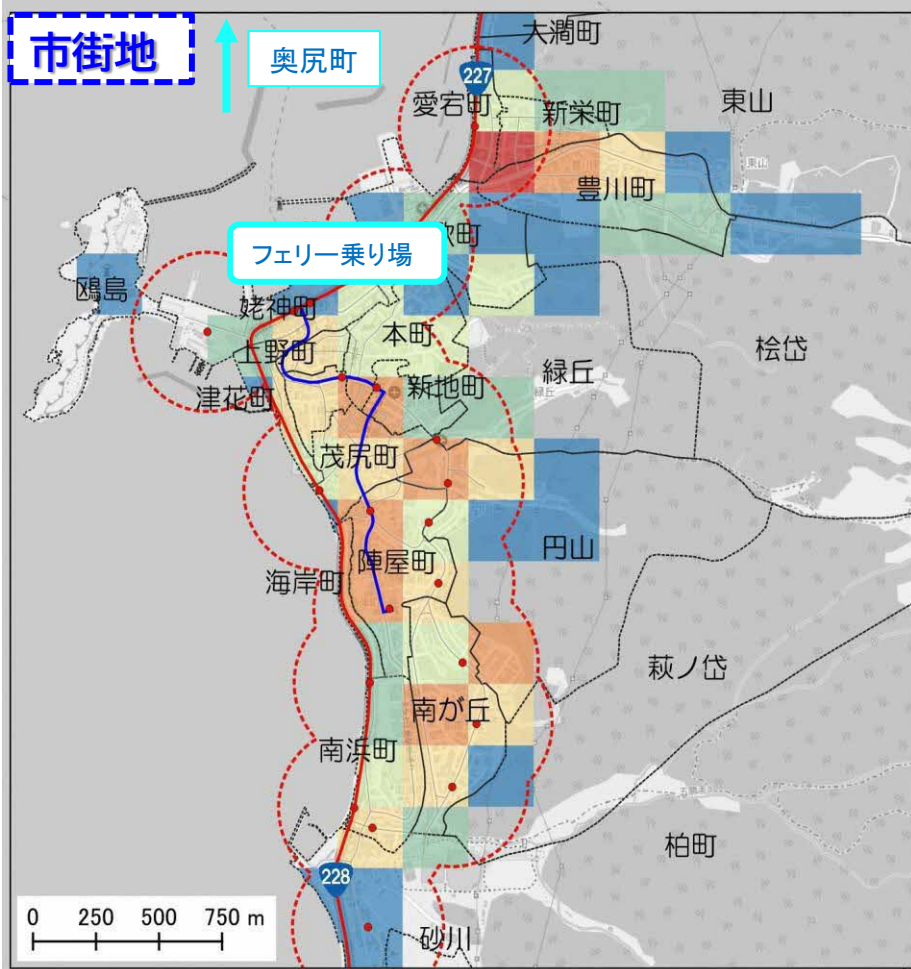
ワゴン車両(定員10名)

× 2台体制

(本実証事業)



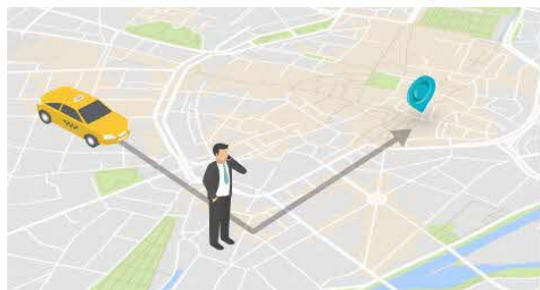
- ◆**運行方法**：A、B各エリアでのオンデマンド交通による輸送サービスで、商業施設等を中心に乗降地点化
- ◆**広域移動**：エリアを超える移動は既存交通の利用を促すこととし、一部バス停・フェリー乗り場を乗降地点化することで、既存交通への接続による利用増大を図る





SAVSを活用することで、自家用車・自動車運転免許のない高齢者等が多く、かつ交通事業者のリソースが限られた地域でも効率性を高め、継続運用できるモビリティサービスを設計する

■ SAVSとは…(株)未来シェアが開発したタクシー(予約型交通)と路線バス(乗合交通)の長所を掛け合わせたAIによるリアルタイムな便乗配車計算を行うサービス



1. デマンドに応じて車両が走行



2. 異なるデマンドが発生



3. リアルタイムにルート最適化

本事業における
配車の流れ

※誰でも利用しやすい仕様とするため
LINEプラットフォームを活用した
アプリサービスの実装のほか
電話による配車予約も可能

①携帯端末(スマホアプリor
自動音声電話)で配車



②電話で配車



【函館バス(株)】

AI配車予約
システム
SAVS

最適な運行
ルート进行計算



予約内容
の確認



【函館バス(株)】

配車予約完了



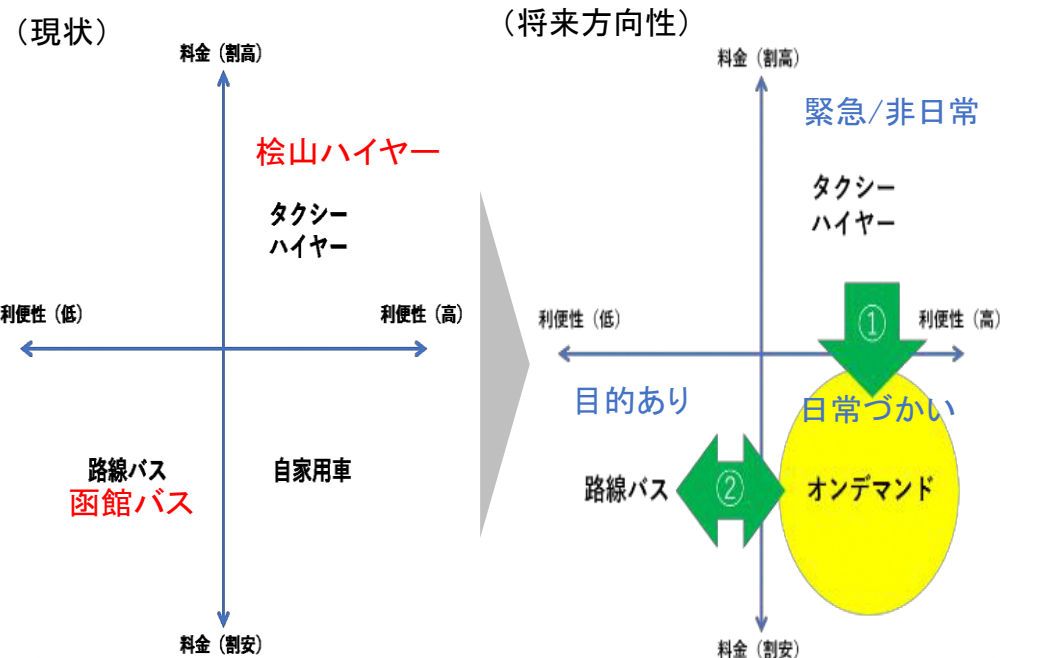
①(有)桧山ハイヤー



②函館バス(株)



公共交通の位置付け



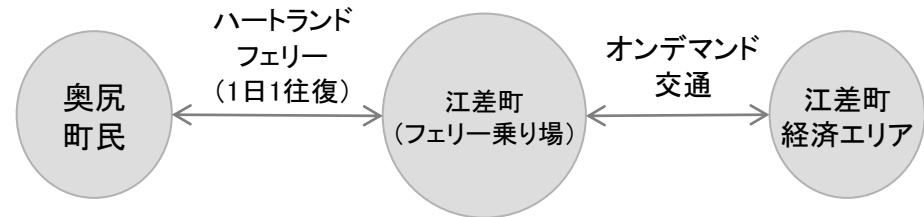
- ①乗車効率向上UPによる売上UP
・運行システム(SAVS)の活用
-最適輸送ルート(運行の効率化)
-乗合による収益拡大
-交通資源の有効活用
⇒低価格帯の運賃の実現化
- ②公共交通機関間の効果的な接続
・交通手段の選択肢増加
-既存交通との共存・共栄
-地域公共交通の細分化
⇒目的ごとの最適な交通手段の選択

本事業のオンデマンド運行システムの提供をつうじて
①と②の可能性を追求し、結果として住民利便性の向上へとつなげる

フェリー利用者へのサービス提供

- ◆離島、奥尻島民へのサービス提供による経済波及効果とその他影響の考察
- 島内でも高齢化が進行している現状の中で、自家用車(2台目)を江差港の駐車場に駐車し、その車で函館方面への買い物等へ移動する奥尻島民が多くいる状況。
 - 本事業においては交通の課題が大きい離島である奥尻島民へサービスを提供することで、以下のように「奥尻町民の(買い物)利便性向上」及び「関係人口の創出・拡大」の双方の可能性を検証する(ニーズ含めて調査・実証)

【サービスイメージ】

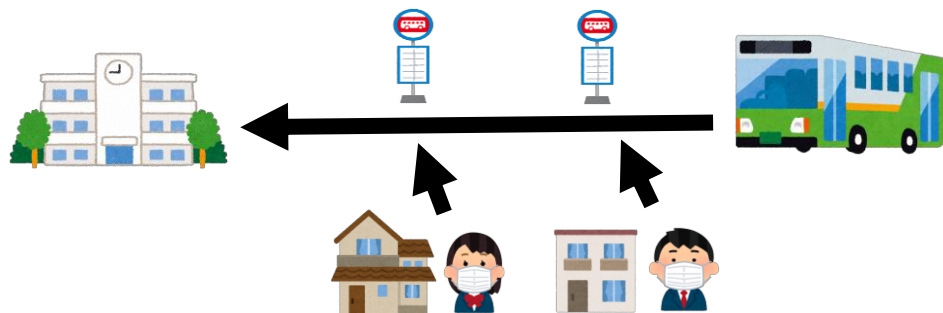


- 奥尻町民の利便性の向上に関する検証事項
- 奥尻町民の江差マースの利用がどれくらいあるか(MaaSのDBより)
 - サービス提供前と後で江差町における買物内容にどのような変化があったか(EZOCAのDBより)
 - 江差町における移動ニーズがあるか否か(アンケート等)
 - 江差マースによって江差町に来る頻度が上がるか否か(アンケート、事業者ヒアリング等)
- 奥尻町民の江差町内における経済活動の拡大に関する検証事項
- 奥尻町民が江差マースを利用することでEZOCA加盟店を中心とした小売等事業者の収益拡大につながるか(MaaS DB・EZOCA DBより)
 - 奥尻町民と江差町民の買物傾向・内容には違いが見受けられるか(EZOCA DB、サツドラPOSデータより)
 - その他、事業を通じて江差町事業者が奥尻町民に対する新たなサービス提供の可能性の検証



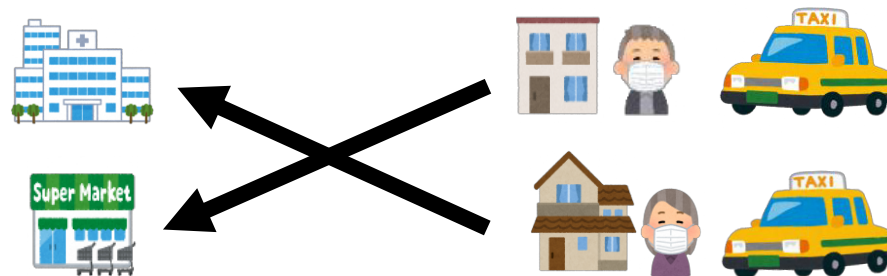
路線バス型交通

- ・各路線で乗車・降車する時間・場所が決まっている
- ・1回の運行で複数人数を乗せて運行するため、運賃は安い



タクシー型交通

- ・ドアtoドアで自由な時間で行きたいところに移動できる
- ・1回の送迎につき1台の車両が運行するので、運賃は高い



※決まった時間に決まったルートを運行する路線バスや、自由な時間に自由な場所で乗り降りができるタクシーの中間的な位置にあるのがオンデマンド交通で、導入に向けて、本実証事業で町内の移動ニーズ等についての検証を行う。

オンデマンド型交通

- ・事前予約をした上でドアtoドアで行きたいところに移動できる
- ・1台の車両で、複数人数を乗せて運行するので、運賃は安い



一般旅客自動車運送事業による乗合旅客運送許可申請に係る協議

1. 運行形態等

運行事業者	有限会社松山ハイヤー	
事業の種類	一般乗用旅客自動車運送事業	
旅客の範囲	江差町内の運送区域内に居住する住民及び町外からの訪問者（事前登録者）	
運送区域	江差町内（愛宕町、新栄町、豊川町、東山、松岱、中歌町、姥神町、上野町、本町、橋本町、鷗島、津花町、茂尻町、新地町、緑丘、円山） ※1 別紙「【資料8】対象エリア図・運送エリア図」のとおり	
運送期間	令和4年10月11日（火）～11月30日（水） ※2 運行日は 火曜日、水曜日、金曜日及び土曜日 ※3 10月4日（火）・5日（水）・7日（金）・8日（土）については試乗期間による無料運行とする	
運行時間	午前8時～午後4時 ※4 土曜日のみ午後2時から午後5時までの運行 ※5 平日の12時～午後1時までの1時間は、運転手の休息のため運行時間外とする	
運行形態	・事前に乗降地点を設定の上、配車予約のあった乗降地点間のみを最短距離で運行する区域運行方式（オンデマンド輸送）とする ・複数の配車予約がある場合には、予約状況に応じて複数乗車する乗り合い制を採用	
運行車両	ジャンボハイヤー（函館300あ219・トヨタハイース・定員10名）1台 ※6 故障等が生じた際の 予備車両 として、同じく ジャンボハイヤー（函館300あ186・トヨタハイース・定員10名）1台を配備 ※7 本実証の使用車両は有限会社松山ハイヤーが所有する事業用乗用自動車と併用する ※8 新型コロナウイルス感染症の影響による車内空間の密を少しでも避けるため、 運送期間中の乗車定員は6名とする （貼付イメージ） ※9 車両の区別のため、ジャンボハイヤーには専用のマグネットシートを貼り付けるものとする	
配車予約	・電話番号・自宅などによる事前登録者が利用可能で、スマートフォンのアプリ（LINE）、電話（自動音声対応）または一部乗降地点に設置予定のタブレット端末からの予約が可能 ・スマホアプリや電話（自動音声）については24時間受付とし、1週間前からの予約を受け付け、最短10分前までの予約が可能 ・株式会社未来シェアが開発したAI配車予約システム「SAVS」による配車予約の管理を行い、株式会社駅探が開発するLINEアプリなどを活用した予約ツールと連動する仕組み	
運賃	・1日フリー乗車制とし、大人（小学生以上）1人あたり500円（現金のみ）とする ・小学校就学前の乳幼児については無料とする ※10 乗客からの利用料金（500円／人・日）の支払いを確認次第、当日の日付が記入された乗車チケットを配付し、2回目以降（当日限り）の乗車時に運転手に掲示する仕組み ※11 乗車トラブルを避けるため、運転手は「料金の支払い確認・乗車チケットの配付・乗車チケットの日付確認」を徹底する	
	【参考】既存交通の運賃	
	〈函館バス・路線バス〉 150～210円 ※12 「円山バス停」～「愛宕町バス停」間のバス運賃	〈松山ハイヤー・タクシー〉 初乗運賃650円（1.4kmまで） ※12 258mごとに80円の加算
周知方法	実証運行の内容について、多くの住民に認知、利用してもらうため、広報誌（チラシ配布含む）、町ホームページ、住民説明会及び新聞等で周知を行う	

2. 乗降地点

拠点 番号	拠点名称	カテゴリー						町名
		行政	金融	買物	通院	交通	娯楽	
0 1	自宅（運送区域内）							
0 2	愛宕町バス停（下り）					●		愛宕町
0 3	愛宕町バス停（上り）					●		愛宕町
0 4	道南勤医協江差診療所				●			中歌町
0 5	江差町役場	●						中歌町
0 6	北洋銀行江差支店		●					中歌町
0 7	江差町会会館	●						中歌町
0 8	開陽丸青少年センター			●				姥神町
0 9	医療法人社団恵愛会佐々木病院				●			姥神町
1 0	江差郵便局		●					姥神町
1 1	江差警察署前（対鷗館）	●						上野町
1 2	レディスショップたじま			●				本町
1 3	法華寺通り商店街・寄来所						●	本町
1 4	道南うみ街信用金庫本店		●					本町
1 5	ラルズマート江差店			●				橋本町
1 6	江差港フェリーターミナル					●		—
1 7	江差茂尻郵便局前（茂尻児童公園）		●					茂尻町
1 8	江差町文化会館						●	茂尻町
1 9	江差BASEプラス1						●	新地町
2 0	増永歯科医院				●			新地町
2 1	ダイソー江差店			●				新地町
2 2	サツドラ江差店			●				円山
2 3	在宅型総合福祉施設まるやま						●	円山
2 4	江差町立かもめ保育園	●						円山

3. 実証運行開始までのスケジュール

- ◆ 8月31日（水） 令和4年度第1回江差町地域公共交通活性化協議会（本日）
- ◆ 9月 1日（木） 広報えさし9月号掲載 ※本実証運行に関する概要等の簡潔な記載のみ
- ◆ 9月上旬～中旬 乗降地点に指定する各施設の管理者との協議 ※停留所の設置予定はなし
- ◆ 9月上旬 町内会との意見交換会 ※モニター募集の呼びかけを予定
- ◆ 9月中旬～下旬 住民説明会の開催 ※江差町及び奥尻町の複数会場にて予定
- ◆ 9月30日（金） 広報えさし10月号掲載 ※チラシの折り込み配布を予定
- ◆ 10月4日（火）～8日（土） 試乗運行（無料）期間
- ◆ 10月11日（火） 運行（有料）開始予定



道路運送法第9条第4項及び同法施行規則第9条第2項に
掲げる協議が整っていることの証明書（案）

令和4年8月31日に開催された 江差町地域公共交通活性化協議会（地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（令和19年法律第59号）第6条に規定する協議会）において、下記事項に関し、協議が整ったことを証明する。

記

1. 協議が整っている運送区間又は運送区域

江差マース（オンデマンド型交通）

⇒ 江差町内（愛宕町、新栄町、豊川町、東山、桧岱、中歌町、姥神町、上野町、本町、橋本町、鷗島、津花町、茂尻町、新地町、緑丘、円山）の自宅及び商業施設等の乗降地点において、配車予約のあった乗降地点間のみを最短距離で運行する区域運行方式。

2. 協議が整っている運送しようとする旅客

江差町内の運送区域内に居住する住民及び町外からの訪問者（事前登録方式）。

3. 協議が整っている運賃（料金）の種類、額及び適用方法

1日フリー乗車制で大人（小学生以上）1人あたり500円とする。

⇒ 当日限り有効の乗車チケットを利用者に配付
小学校就学前の乳幼児は無料とする。

4. 適用する期間又は区間その他の条件を付す場合には、その条件

適用期間 令和4年10月11日（火）から11月30日（水）まで

運行日 火曜日、水曜日、金曜日、土曜日

運行時間 午前8時から午後4時までとし、土曜日については午後2時から午後5時までとする。

運行事業者 有限会社桧山ハイヤー

令和4年8月 日

江差町地域公共交通活性化協議会

会長 田畑 明

令和4年度江差町地域公共交通活性化協議会補正予算(案)

1. 補正理由

- (1) 江差マース実証実験の実施のため、本協議会を主体に応募した国土交通省「共創モデル実証プロジェクト（共創による地域交通形成支援事業）」が令和4年6月30日付けで採択され、令和4年8月29日付けで同省より交付決定（補助金額：13,771千円）を受けたこと。
- (2) 国土交通省「共創モデル実証プロジェクト（共創による地域交通形成支援事業）」の採択に伴い、江差町7月臨時会において「江差町地域公共交通活性化協議会負担金事業（事業費：21,073千円）」の補正予算が可決されたこと。

2. 歳入予算(単位:円)

款	項	目	当初 予算額	補正額	補正後 予算額	補正額内訳
1 負担金	1 負担金	1 負担金	5,620,100	7,301,777	12,921,877	・江差町負担金 21,073千円 ・江差町戻入額 ▲13,771千円
2 補助金	1 補助金	1 補助金	594,900	13,771,223	14,366,123	地域公共交通確保維持改善事業費補助金（共創による地域交通形成支援事業）
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	0	0	0	
合 計			6,215,000	21,073,000	27,288,000	

3. 歳出予算(単位:円)

款	項	目	当初 予算額	補正額	補正後 予算額	補正額内訳
1 運営費	1 会議費	1 会議費	150,000	0	150,000	
	2 事務費	1 事務費	50,000	0	50,000	
2 事業費	1 事業費	1 事業費	6,000,000	21,073,000	27,073,000	・基礎調査データ収集・分析等に要する経費 7,148千円 ・配車予約システム等の構築に要する経費 8,778千円 ・実証運行に要する経費（運行費・広報費など） 5,147千円
3 予備費	1 予備費	1 予備費	15,000	0	15,000	
合 計			6,215,000	21,073,000	27,288,000	

【北海道江差高等学校】通学状況に関するアンケート調査票（生徒用）

- 「ア、イ…」の選択肢のある質問は、選択肢の中から回答していただき、（ ）のある質問もしくは【自由記述】とある質問には当てはまる数字、あるいは具体的な記述をお願いします。
- 選択肢のある質問には「1つだけ」、「1つずつ」、「いくつでも」の3種類がございますので、指定の個数を選択してください。

問1 学年を教えてください。 (1つだけ)	ア. 1年生 イ. 2年生 ウ. 3年生	
問2 どちらにお住まいか教えてください。 (1つだけ) <u>※地区名は字名までで、番地以降の記述は不要です。</u> (例: 江差町字中歌町)	ア. 江差町 (地区名:) イ. 乙部町 (地区名:) ウ. 上ノ国町 (地区名:) エ. 厚沢部町 (地区名:) オ. その他 ()	
問3 部活動への所属状況を教えてください。 (1つだけ)	ア. () 部 イ. () 局 ウ. 所属していない	
問4 それぞれの通学時間を教えてください。 <u>※おおよその時間がかまいません。</u>	通 常	<行き> ・自宅を出発する時間 (時 分) ・学校に到着する時間 (時 分)
		<帰り> ・学校を出発する時間 (時 分) ・自宅に到着する時間 (時 分)
	定 期 試 験	<行き> ・自宅を出発する時間 (時 分) ・学校に到着する時間 (時 分)
		<帰り> ・学校を出発する時間 (時 分) ・自宅に到着する時間 (時 分)
	学 校 祭	<行き> ・自宅を出発する時間 (時 分) ・学校に到着する時間 (時 分)
		<帰り> ・学校を出発する時間 (時 分) ・自宅に到着する時間 (時 分)
問5 通学時に利用している移動手段を それぞれ教えてください。 (いくつでも) <u>※乙部町の生徒が利用されている、乙部町 デマンド型乗り合いタクシーについては、 「オ. タクシー」に含むものとします。</u>	<行き> ア. 徒歩 イ. 自転車 ウ. 家族や知り合いの自家用車 エ. 路線バス オ. タクシー カ. その他 ()	
	<帰り> ア. 徒歩 イ. 自転車 ウ. 家族や知り合いの自家用車 エ. 路線バス オ. タクシー カ. その他 ()	

問5で<行き>と<帰り>両方で「カ」を回答された方は問10に進んでください

(裏面にお進みください)

～ 問5で<行き>と<帰り>どちらかまたは両方で「ア」「イ」「ウ」と回答された方にお聞きます ～	
問6 公共交通機関を利用していない理由を教えてください。 (いくつでも)	ア. 自宅から学校までが近距離であるため イ. 家族などの通勤途中での送迎が可能のため ウ. 利用したい時間帯に運行されていないため エ. 自宅付近に停留所がないため オ. 運賃が高いため カ. その他()
～ 問5で<行き>と<帰り>どちらかまたは両方で「エ」「オ」と回答された方にお聞きます ～	
問7 主な移動区間をそれぞれ教えてください。 (1つずつ) <u>※自宅と学校間を直接行き来する場合は「ア」を選択、路線バスを利用する場合は「イ」を選択しバス停名を記述、乙部町デマンド型乗り合いタクシーを利用する場合は「ウ」を選択し地区名を記述願います。</u>	<行き> ア. 自宅→江差高校 イ. (バス停名:) →江差高校 <帰り> ア. 江差高校→自宅 イ. 江差高校→(バス停名:) ウ. 江差高校→(地区名:)
～ 問5で<行き>と<帰り>どちらかまたは両方で「エ」「オ」と回答された方にお聞きます ～	
問8 利用頻度を教えてください。 (1つだけ)	ア. ほほ毎日 イ. 平日のみ ウ. 週に1～3回程度 エ. 月に数回程度 オ. 年に数回程度
～ 問5で<行き>と<帰り>どちらかまたは両方で「エ」「オ」と回答された方にお聞きます ～	
問9 利用している公共交通機関の改善点がございましたら、教えてください。 (いくつでも) (※参考情報) 函館バス バスロケ QRコード	ア. 始発時刻を早くしてほしい イ. 終発時刻を遅くしてほしい ウ. 住宅街付近に停留所を増やしてほしい エ. フリー乗降区間を設けてほしい オ. 運賃を安くしてほしい カ. 冬場の運行ダイヤの乱れをなくしてほしい キ. 停留所にベンチや屋根を設置してほしい ク. 運行情報(到着予定時刻、運賃等)の発信を充実してほしい(※) ケ.今のままで十分利用しやすい コ. その他()
問10 普段の通学で困っていること、不便に感じていることなどがございましたら、教えてください。 (例) ・〇〇時に学校が終わると、バスが既に運行していない ・朝は家族に〇〇まで送ってもらえるが、帰りは迎えがない ・帰りのバス時間がないので部活動ができない ・バスで通学したいが、最寄りの停留所まで遠いため利用できない ・待ち時間が長すぎる ・休日の部活や登校日にバスが利用できない など	【自由記述】
問11 公共交通機関がより便利になった場合、現在と比べて通学時の利用頻度が変化するかどうか教えてください。 (1つだけ)	ア. 利用頻度が増えると思う イ. 利用頻度は変わらないと思う ウ. 引き続き利用しないと思う エ. その他()

【北海道江差高等学校】通学状況に関するアンケート調査票（保護者用）

- 「ア、イ…」の選択肢のある質問は、選択肢の中から回答していただき、()のある質問もしくは【自由記述】とある質問には当てはまる数字、あるいは具体的な記述をお願いします。
- 選択肢のある質問には「1つだけ」、「1つずつ」、「いくつでも」の3種類がございますので、指定の個数を選択してください。

問1	お子さんの学年を教えてください。 (1つだけ)	ア. 1年生 イ. 2年生 ウ. 3年生
問2	どちらにお住まいか教えてください。 (1つだけ) <u>※地区名は字名までで、番地以降の記述は不要です。</u> (例: 江差町 <u>字中歌町</u>)	ア. 江差町 (地区名:) イ. 乙部町 (地区名:) ウ. 上ノ国町 (地区名:) エ. 厚沢部町 (地区名:) オ. その他 ()
問3	お子さんが通学時に利用されている 移動手段をそれぞれ教えてください。 (いくつでも) <u>※乙部町の生徒が利用されている、乙部町 デマンド型乗り合いタクシーについては、 「オ. タクシー」に含むものとします。</u>	<行き> ア. 徒歩 イ. 自転車 ウ. 家族や知り合いの自家用車 エ. 路線バス オ. タクシー カ. その他 () <帰り> ア. 徒歩 イ. 自転車 ウ. 家族や知り合いの自家用車 エ. 路線バス オ. タクシー カ. その他 ()
問3で<行き>と<帰り>両方で「カ」を回答された方は問7に進んでください		
～ 問3で<行き>と<帰り>どちらかまたは両方で「ア」「イ」「ウ」と回答された方にお聞きます ～		
問4	お子さんが公共交通機関を利用されて いない理由を教えてください。 (いくつでも)	ア. 自宅から学校までが近距離であるため イ. 家族などの通勤途中での送迎が可能なため ウ. 利用したい時間帯に運行されていないため エ. 自宅付近に停留所がないため オ. 運賃が高いため カ. その他 ()
～ 問3で<行き>と<帰り>どちらかまたは両方で「エ」「オ」と回答された方にお聞きます ～		
問5	お子さんの利用頻度を教えてください。 (1つだけ)	ア. ほぼ毎日 イ. 平日のみ ウ. 週に1～3回程度 エ. 月に数回程度 オ. 年に数回程度
～ 問3で<行き>と<帰り>どちらかまたは両方で「エ」「オ」と回答された方にお聞きます ～		
問6	1カ月の通学費用を教えてください。 <u>※定期代などの合計金額でかまいません。</u>	1カ月あたり (円)

(裏面にお進みください)

問7 お子さんの普段の通学で困っていること、不便に感じていることなどがございましたら、教えてください。 (例) ・ちょうどいい時間帯にバスがなく、送迎が大変 ・定期代が高いため、バス通学をさせることができない ・バスで通学させたいが、最寄りの停留所まで遠いため利用できない ・休日の部活や登校日にバスが利用できない など	【自由記述】
問8 公共交通機関についての改善策や要望などがございましたら、教えてください。 (例) ・〇〇時頃にバスが運行してもらえると帰宅時に利用でき、バス通学をさせることができる ・定期代が高額のため、定期代の補助を行ってほしい ・自宅付近の〇〇に停留所を設置してほしい ・〇〇付近にフリー乗降区間を設けてほしい など	【自由記述】
問9 公共交通機関がより便利になった場合、現在と比べてお子さんの通学時の利用頻度が変化するか教えてください。 (1つだけ)	ア. 利用頻度が増えると思う イ. 利用頻度は変わらないと思う ウ. 引き続き利用しないと思う エ. その他 ()

道路運送法及び同法施行規則 条文抜粋

●道路運送法

(一般乗合旅客自動車運送事業の運賃及び料金)

第九条

- 4 一般乗合旅客自動車運送事業者が、地域における需要に応じ当該地域の住民の生活に必要な旅客輸送の確保その他の旅客の利便の増進を図るために乗合旅客の運送を行う場合において、国土交通省令で定めるところにより、当該運送に係る運賃等について地方公共団体、一般乗合旅客自動車運送事業者、住民その他の国土交通省令で定める関係者間の協議が調ったときは、当該一般乗合旅客自動車運送事業者は、第一項及び前項の規定にかかわらず、あらかじめ、その旨を国土交通大臣に届け出ることをもって足りる。これを変更しようとするときも同様とする。

(乗合旅客の運送)

第二十一条 一般貸切旅客自動車運送事業者及び一般乗用旅客自動車運送事業者は、次に掲げる場合に限り、乗合旅客の運送をすることができる。

- 一 災害の場合その他緊急を要するとき。
- 二 一般乗合旅客自動車運送事業者によることが困難な場合において、一時的な需要のために国土交通大臣の許可を受けて地域及び期間を限定して行うとき。

●道路運送法施行規則

(一般乗合旅客自動車運送事業の運賃等の届出)

第九条

- 2 法第九条第四項の規定による運賃等の設定又は変更の届出に係る前項の届出書には、当該届出に係る運賃等について次条に規定する地域公共交通会議又は協議会において協議が調っていることを証する書類を添付するものとする。

(法第九条第四項の協議が調ったとき)

第九条の二 法第九条第四項の協議が調ったときとは、同項の届出に係る運賃等について地域公共交通会議（地域住民の生活に必要な旅客輸送の確保その他の旅客の利便の増進を図るために必要な一般旅客自動車運送事業及び自家用有償旅客運送に関する協議を行うために一又は複数の市町村長（特別区の区長を含む。以下同じ。）又は都道府県知事が主宰する会議をいう。以下同じ。）又は協議会において協議が調っているときとする。

江差町地域公共交通活性化協議会

会長 田畑 明 殿

北海道運輸局長
(公印省略)

令和 3 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
(共創による地域交通形成支援事業) 交付決定通知書

令和 4 年 8 月 1 7 日付けで申請のあった「令和 3 年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(共創による地域交通形成支援事業)」については、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(昭和 30 年法律第 179 号。以下「適正化法」という。)第 6 条第 1 項の規定により、下記のとおり交付することを決定したので、同法第 8 条の規定により通知する。

記

1. 補助金の交付の対象となる事業、補助金の額並びに補助対象経費及びその配分額は、別紙のとおりとする。
2. 補助対象事業者は、適正化法、同法施行令(昭和 30 年政令第 255 号)及び地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱に定めるところに従わなければならない。

令和3年度：地域公共交通確保維持改善事業費補助金（共創による地域交通形成支援事業）交付決定事業

補助対象事業者名：江差町地域公共交通活性化協議会

(単位：円)

	補助対象事業の種別 (補助対象経費の区分)	補助対象事業の名称	補助対象設備	補助対象事業の 着手及び完了予定日	補助対象経費	補助金額	備考
1	①事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会開催に要する経費等	実証事業実施のための基礎データ収集・分析経費	委託費	着手予定日： 交付決定日以降 完了予定日： 令和5年3月31日	2,843,500	13,771,223	
2	①事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会開催に要する経費等	EZOCAカードデータ提供料	委託費		440,000		
3	①事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会開催に要する経費等	実証事業実施に係る活動費	人件費		2,793,200		
4	①事業実施のための基礎データ収集・分析、協議会開催に要する経費等	実証事業実施に係る活動費	旅費		792,000		
5	②地域における交通の維持・活性化を図る事業実施にあたり必要となるシステム構築、車両購入・改造に要する経費	SAVS（配車計算サービス）の構築・利用費用	委託費		1,518,000		
6	②地域における交通の維持・活性化を図る事業実施にあたり必要となるシステム構築、車両購入・改造に要する経費	江差マースシステム構築・運用費用	委託費		7,259,940		
7	③交通を基盤とした地域課題の解決を検証するための実証運行に要する経費	ジャンボハイヤー車両代金（松山ハイヤー）	委託費		2,587,200		
8	③交通を基盤とした地域課題の解決を検証するための実証運行に要する経費	レンタカー料金（トヨタハイースグランドキャビン）	使用料及び賃賃料		691,900		
9	③交通を基盤とした地域課題の解決を検証するための実証運行に要する経費	レンタカーガソリン代	燃料費		423,115		
10	③交通を基盤とした地域課題の解決を検証するための実証運行に要する経費	オンデマンド交通運行業務委託費	委託費		924,000		
11	③交通を基盤とした地域課題の解決を検証するための実証運行に要する経費	オンデマンド交通受付（電話予約）業務委託費	委託費		308,000		
12	③交通を基盤とした地域課題の解決を検証するための実証運行に要する経費	住民周知用チラシ印刷費用	作成費		99,000		
13	③交通を基盤とした地域課題の解決を検証するための実証運行に要する経費	住民周知用ポスター印刷費	作成費		93,500		
14	③交通を基盤とした地域課題の解決を検証するための実証運行に要する経費	運行車両用マグネットシート購入費	物品購入費		19,800		
計					20,793,155	13,771,223	